京城日報
發行兼編輯人 泥谷良次郎　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番

最近の米國（三）
戰爭は罪惡 スミス博士講演

米國では佐藤中將が著はした書物を澤山…殆ど總ての人が讀んでゐるやうです夫から私共が日本の山東及西伯利問題の方針を話しても怎うも多くの人は信用しません日本は何う云ふ風に處決し實行するかと矢張り疑つて居ります又日本人の立場から米國を觀察になつたら澤山米國の事に就いて不安心な點もありませうが米國は大體今度の戰爭の爲に資金を得ました現今金も澤山ありますし其外も澤山の金を歐羅巴に貸してありますから米國も幾らか威張つて居ります私は或る米國人に『貴方は米國が斯う云ふ風に盛つて總ての國に金を貸すことが出來て大變誇つて居るやうだが金を愛する理由を御存知ですか』と訊いたら其人は一寸考へて『金を貸す事は非常に愉快である』と答へましたが國家も然うです勿論金を貸すことは宜しいが其道を誤つてはいけません又米國には武斷派はありませんが併しながら米國には保守的政治家がまだ大分あります而して保守派に屬する閣證と日本の所謂武斷派に屬して居る御方と連絡の中何處かに賛成する所であると云ふ事は私の大に賛成する所であります保守的政治家が種々な政治上に調して種々なことを言つて居り殊に加州の政治家が種々な熱を吹いて居りますが此等の政治家に限つて若し戰爭があつたらカラン州か又はカンサス州と云ふやうな極安全な所に逃げて了ふのに違ひない、又日本の所謂武斷派に屬して居る者は戰爭に出るのもありませうが平素大部分は輕井澤や何處か安全な所に行つて居ります、然うして戰爭に從はなければならない者は自分等です、夫れから私は非常に强く中止げたいのは若し日本と米國との間に戰爭が起つたら夫れは世界の歷史中の一番忌むべきものである、間違ひであると私は考へて居ります怎うも私は戰爭で何事をも解決することは出來ないと思ひます夫れは日本の爲になりません日本の爲にも米國の爲にも大損害になるだけであります、私は此のことに就て米國人に明瞭に述べて置きました、ソレから米國を第三者として此方から見ましたら海軍には大分金を費して居るやうに見ゆう中ました

ます、又黙つてるでせう併しハルビ氏が徹て論敦に行つて米國は非常に喜んで戰爭に參加したと云ふのを米國人が聽いて非常に不滿を懷いて居つたさうであります時は私は歐に行つた靑年に依つて組織されてゐる米國の靑年會に如上のことを申しました、其時私は靑年會員に戰爭の事に付て問ふた處が『私共の戰爭に行つたことは一ッの理想を以てであります、決して勝手に行つたのではない那のハルビは實は一狂人だ政府は何故あゝ云ふ人を遣るか知らん怎うも賛成することは出來ません』と大多數は然

帝展に現はれたる美術界の大勢

本年の帝展に入選した畫家の中にその修養期の大部分を我が朝鮮の自然の中に過した人を二名數へることが出來ます、鶴田吾郎、楢崎鐵香の兩氏です、而も特に兩氏を煩はして本秋の帝展に現はれたる美術界の大勢を伴ゐることにいたしました

新しき試みに進む日本畫家　鶴田吾郎

日本畫の材料を以て、西洋畫の表した世界に突入しゆかんとする試みが帝展日本畫部の半數以上を占てゐることを思へば、日本畫家がいま苦しき產まみの過度期にあるとも思ひ知られる、此傾向の可否は、難しい問題であるまいが、現在斯かる表現で可能ないが、時日を待たねば決すると云ふことは形式的にしろ老練せる技巧、要る結果を以て見れば、私は寧ろ領と統一とを以て、些の滯も描き上げてゆく二三元老の手腕を安心して眺めることができるのである。先づ小室翠雲氏の『南船北馬』は塢中でも異彩なるものであらう支那漫遊より得たる題材であつて、南船は前景に高い塔を表し背景に揚子江の流れを見せてゐる、塔を大膽に中央に高くより描き下した點に於ても、思ひ切つたやり方であつて、實際の印象より來つたものだけ率直に表れてゐる。北馬は萬里の長城を描いたものだが、出來としては南船の方がいゝ、老熟せる手法は往日を引いてゐる、川合玉堂氏では『小雨の軒』といふ驛路の雨の情景をスケッチ風に取扱つたものと二曲屛風に描いた『岩魚釣』がある玉堂氏の繪は日本畫家の若い人達には、既に慊き足らない心持で澤山であらうが、洋畫の陰影などを下手に應用したものより、私達は遙かに趣味が見ゐない。山内多門氏は今年も金剛山を寫した『金剛九成洞』がある、六曲一双の大作器畫であるが私には感心できなかつた、二人の點綴せる朝鮮人の形なで殊更に感じを表さんとした爲か自然になつてゐる、醜い言ひ分であるが提灯屋さんが健筆を揮つた如くも見へる。金剛山を描いたものでは、昨年の方がまだ落ち着きと調合に素直なところがあつた九成洞のやうな岩石の大きな硬い線の集合にのみよつて作られてゐる風景は、寥々殿の如く見ゆるけれど、繪にした場合徒らに生硬な感情を與へるのみである菊地芳月氏の『鶴』は平凡な作りであるけれども、一羽の鶴が春光に浴してゐる柔かな温かい氣持ちを與へる色調も整つてゐるし大まかなやり方で、それでデリケートな感情を表してゐるしてゐるだらう大家と稱せられてゐる人で今年出品が無かつたのは淸方、翠明、栖鳳、關雪氏等が見へないので何となく淋しい

屑屋の籠　熈汀生
船旅日記（其の十二）
低氣壓＝熊野灘

やがて船が進んで、潮岬を左舷に望む頃北東の空模様に黑ずみ風強ッと吹いて、雨さへ加はり陰慘の氣四殺を罩めた。船内には頼りに『低氣壓』『低氣壓』といふ叫聲が聞こゆる。今まで船首に見ゆて居た一隻の小汽船は倉皇として大島の島陰に隱れんとして居る。遂く難を串本に避けんとするのであらう。暫らくすると、海上模糊として水線も忽ち沒し、島も見ゑず、山も見ゑず、船外唯渺茫として、恰かも紗布を隔てゝ物を視るやうであるそれに雨は、益、烈しく風は愈、猛りをなして荒れ狂ふ怒濤は船舷を打つて其の飛沫が瀑布の迸る如く甲板を洗ふ嗚呼何たる凄慘いことであるぞ！三千五百噸の巨船は恰も木葉の如くに前後左右に揺らゆる熊野灘は、島より麥崎（志摩の南端）に至るの間を徑海上約七十哩黑潮の作用を受けて遠州灘と共に古來航海者の最も苦んだ處である水天相交はる邊より汗濛として寄せ來る太平洋のスウェル（長濤）は海岸に到て始めて岩礁に激し常に咆哮の響きを絕たないのである

◇顧みれば明治廿三年九月十六日土耳其の軍艦エルトグロール號が夜此の難所を過ぎて颶風に遇ひ、竟に暗礁に觸れて覆沒し特派大使オスマン、パシャ以下乘組五百八十一人が怨みを呑んで空しく海底の藻屑となつたこともある。樫野崎燈臺の後邱には其の遭難の碑が建つてある。其處に見ゆる無數の白い物は、是等不幸な人々の、永久の夢守る奧津城である。低氣壓はまだ去らない船員は頼りに拔錨を用ひて、船の位置を推定せんとして居る。そして船は號笛を鳴らして、濃霧の内を徐行する向、序に記すが、我等が颶風の方向、中心位置を知る爲めに、次のやうな法がある。『風を背に北なら左南なら、右の手を出せそれが中心』北は北半球、南は南半球である。風を背に受けて自分の在る所に隨つて、左又は右の手を眞横に出せば、其處に颶風の中心位置があるのである風向の變る每に之を繰返せば略中心の進行方向も分るのである

小說 運命（三四）　原田東風

『舩の跡は料理店になつてゐるよ』
『料理店……それは又意外だなア』
『だから益、感慨に堪へなかつたよ』
『じゃア赤井先生は何うしたらう』
『疾うに死んださうだよ』
『死んだ？……尤も齡が齡だからなア……』
『齡も齡だけれど、併し惜しいことをしたよ、彼アいふ先生が生きてゐられると未だしも青年の氣風を如何程か維持することが出來たんだからなア』
熊倉も昔を思ひ出すと感慨に堪へなかつた。
『さう言へばさうだ、第一彼んな先生は鄕里ばかりでなく日本中探したツて今では滅多にゐないからなア』
言ひながら青木は自分の記憶に殘る赤井先生を思ひ浮かべた青木も熊倉も、その赤井先生の薫陶を受けたのだが、先生は慷慨の志士で若い時には有志の士と共に國事に奔走して、時の太政官に建白書まで奉つた知名の人であつた、第一風采から堂々として、痩せてはゐたが威厳犯すべからざる顔や態度の、見るからに慷慨家らしい先生で、その先生から常に子曰くや忠臣義士の講釋を聞かされてゐたのである。
『さうだ、思ひ出すと未だに眼に見ゆるやうぢやないか、あの高山彦九郎然とした……』
熊倉は慨然さうに言つて徳利を取つたが、酒はもう盡きて居た、が、酒は盡きても二人は氣付かなかつた。
『ウム恰度高山彦九郎だな、あの慷慨淋漓の所などは』
『それによ、あの詩吟朗々とした『蒙義』などをやられる所は何うだね、人をして自ら襟を正さしむるじやないか』
『ウム、酔つて詩吟などをやられる所も好かつたぞ』
『さう言へばあの塾時代が僕等には一番懷しいじやないか、何んにも世間のことを知らずにたゞ熱へ往つて先生の講釋を聞いてゐれば好かつたんだ』
『全くだな、だが御同様家の貧乏には弱つたじやないか、僕なごはたッた三十錢の月謝が容易に貰へないんで毎月辛い思ひをして居つたぞ』
『それは御同樣だ、ハッハッハ』
青木は我知らず始めて笑つた
『月謝だけなら好いが筆や紙は勿論、第一肝腎の書物が買つて貰へないので、僕なごは十八史略を自分で寫したもんだよ』
『僕だツて、日本政記を寫したもんだよ、ハッハッハ……、日本政記を寫す位な貧乏なら未だしもだが、あの北國の雪の中でよ、一冬こう〳〵足袋を穿かずにゐたことがあるぞ、穿かずにゐたんでなく穿けなかつたんだ尤も赤井先生は、足袋など穿くなといふ主義だッたから、僕等のやうな貧乏人は助かつたけれど……』
『さう〳〵、悪衣悪食を耻づるものは未だ與に語るに足らずなんかッてな』

自覺の生活（三）　國民協會相談役　李東雨

隣むべき獨立運動者

叶予の斯る批評は果して予の好む所であらうか、否々然らず寧ろ全然知る懈きを欲せんとする位である其行爲たるや單に我同胞の福祉を害ふのみならず實に我祖先を辱しめ

我民族史を汚す

ものであると斷言する予は敢て此言を爲すものである、而も彼等に獨立運動者の心理狀態を察すれば誠に一掬の涙を禁じ難きものがある、墳墓を棄て妻子に離れて萬里異域に流寓し風餐露宿以て天下に呼號する所以のものは抑も何が爲であるか是れ故國を思ひ同胞を愛するの至誠であらねばならぬ、斯る至誠を有する賢明なる同胞にして且使命に背き時勢に悖るの行爲を敢て爲す惜むべく痛ましきの極みである、されど吾等は

獨立國家の價値

を輕視するものではない、人類の幸福は夫れ〳〵國家に依つて保障せらるゝものであるが併し時代と併立しない謬想迷夢は打破しなければならぬ、倘此に於ては言ふべき多くのものを以て居るけれども夫れは諸君の賢察に止め斷に讓り度い、實際吾等は吾等の自覺と同胞を愛する赤誠とを縫ひ合せて新日本主義を提唱して起つたのである、吾等の同志の一人たる閔元植君は去歳に殉じた、然も吾等同志の結束は益、固く、我同胞の爲めに身命を賭するをも辭しないのである、諸君も恐らくは

我同胞の貫へる

大使命を自惑して居られることゝ信ずる、而して茲に予が有に述べたるが如き我同胞の大使命は現代東洋に於ける痛切なる要求であることを闡すべき一事實がある、其れは東京の有力なる段ても信用ある一部に戰せてあつたことである、簡單に御話すれば『黃色人種即ち御互の如き人種は太陽の子孫である、白色人種即ち英、米の如きは月の子孫である、太陽は温かく月は冷たい、其温かい人情の所有者たる黃色人種（總稱してツラン民族と云ふ日本朝鮮支那各民族はツラン民族に屬す）は世界の全人口十八億（此内には黑奴も入れてある）中八億を算して居るが

歐米列國の間に

獨立國として伍して立派に勢威を保ち得るのは日本帝國唯一國である支那も獨立國ではあるが國力衰へ國威揚らず現に混亂を極めてゐる、其他エストニア、ハンガリー、匈牙利、土耳古、モハメット、ベシキール、キルギス、ブルガリア、韃靼、羅馬等を合せて十種の民族があるが此等は協力して東洋民族の自衞を全うし繁榮を圖らねばならぬと云ふので本月一日東京築地精養軒に於て大亞細亞協會ツラン會發會式を擧げ匈牙利から特派された人類學者ベネデイク博士、バスキルのグルガリーブ氏、印度のサバル氏、支那の楊雪倫氏、日本からは八代海軍々將、堀内陸軍中將、仙子木博士と朝鮮の黃總氏等其他會合し一今や

吾等東洋民族中

にて有力なるは獨り日本あるのみ、日本を中心として大同團結を成さなければならぬと叫び日本に本部を置くことを決議したと書いてある、是れは正に東洋民族の要求である

改造　拾壹月號

日本思想界の 最高權威 世界的思想家 每號執筆

◇アインスタインの宇宙論と思惟の究極……理學博士 石原純
世界的權威たる氏が『尤も快心の作なり、此一文は世界の何處に出さるも恥しからず』と稱せる獨創的雄篇である。科學に於ける崇高嚴肅なる理想的神性は宗教に於けるそれと相通ずと斷ず、正に萬人の必讀を要求すべき精神界科學界最高の糧である。

◇白黃黑人の本質的社會合作……早大教授 杉森孝次郎
稀有の力强き創造的論文、特殊倒開の國際聯盟や華府會議は遂に泥棒の晚餐會に過ぎぬと一蹴し、全人類は其自治、責任、創造の權利は平等なり、其の文化、其の文明は白・黃・黑人の本質的社會合作に依てのみ得るを高唱せり。

◇資本增殖の理法と資本主義の崩壞……法學博士 福田德三
有ゆる社會解放運動の旗手たる勞働運動の使命を目して共產生化―厚生運動、厚生鬪爭―に在りと主張する本論文こそ審し斷く深刻味を加へ來れる現下の我勞動運動の狀態に於て、勞資兩者の等しく必讀すべき大文字である。

◇知識階級の無識……山川均
所謂プロレタリアの專制的傾向なるものに對する偏らざる考察を卒れる當代インテリゲンツィア十有三名の面々を拉し來つて痛烈骨を刺す氏一流の皮肉を浴せかけ其無識を嗤ふ、正に之れ氏の面目躍如たる近來の痛快なる讀ものである。

◇活人費の削減と軍備費の增加……卷頭言

◇婦人參政より共產主義へ（シルヴィア パンクハースト）
本誌の爲に書き放れたる悲壯なる一篇、其は女史がハンガー・ストライキをしてまでも目的を遂行した婦人參政に痛ましくも愛惜を蹴かして議會主義、改良主義を呪ふた此熱烈の一文を讀むものは勇敢なる婦人戰士の爲に思はず感激の淚に咽ばしむ。

◇ポール・クローデル（佛國の日本へ來る時宿の巨人を捉へて縦横に其風貌を描く聞作的一名篇。）……早大教授 吉江孤雁

◇アーサー・ヘンダーソン會見記……本社海外特派員 室伏高信

◇FROM SUFFRAGETTE TO COMMUNIST……Sylvia Pankhurst

◇時評
友愛會大會の印象（近來になき緊張と激論さを有せる過般の大會を峻烈に批判せり。）……山川均
おめでたい往生（高畠安田善次郎慘死に對する最期にして峻き社會的批判を見よ。）……堺利彥

◇教育費削減問題批判
「教育費節減論の側面正面……帝大教授 大島正德
窮死の露にさへも劣る餘裕……早大教授 杉森孝次郎
整理と削減……慶大教授 阿部次郎」
レーニンはあの混亂の渦中でさへ幼少年の教育には絕大の努力した、一軍艦建造費の半ばにも過ぎぬ一千五百萬の削減、嗚呼これ聖業に對する侮辱、文明に對する反逆である。

◇自叙傳……大杉榮
『栴檀は双葉より……』と云ふ、一代の風雲兒大杉君が若き日の記錄を讀むもの誰か今日の彼を怪しむものぞ。剛直粗暴の裡に、いみじくも、燃ゆるが如き情熱、麗はしき任俠の迸り溢るを見よ。げに其自叙傳こそ雄大な一篇の詩であり偉大な藝術である。

創作

◇欅（百數十枚の長篇力作）……吉田絃二郎
隣しき情操の人、謙虛の人として弱り疲れたる一郎に氣を吐く氏の最大力作である。「おせん」は半生の陰影に苦惱して懐刀を懐中し、その夫も酬らるれずして去りし母を追憶して運命ない悔恨に短銃を用意し、武藏野の深い欅林に分け入り其引金を我が喉に擬しては復た考へ直して其彈丸はいつも欅の幹へと打込まる。其の懺悔たる裏への怨みは吉田氏が全人格を傾倒しての偉大なる表現である此力作を一讀する者は誰しも淚に咽ばぬ者があらう。

◇或る男（本號、愈々佳境に入る）……武者小路實篤

◇妓李十（珠玉の如き名作）……室生犀星
失戀の淋しさから彼は藝術といふ寂光に身を蝕して遊んだ、泉底にして自らなる生命が躍如として描かれてある。支那の昔、寒冷の夜每を急流の瀨を渉り、秦淮なる青年の宿を叩いて悲しい戀を語つた金陵の妓李十は、或夜氷凍の流れに其のいぢらしき肉をさらはれて死んださいふ美しくも哀れなる物語を氏獨特の靈筆にて描かれてある。

◇京の女（氏最近の佳作）……近松秋江
曠納頽廢の徳川時代文化の粹である西鶴を通しての美しい京の女を叙し、京女の美を摘へ、文化と美人との必然性を描く、文章の興、想の美、人を魅す。

◇惠まれたる性の爲めに（思春期の性的衝動が少女の心身に及ぼす興味深き事實の赤裸々な展開）……醫學博士 永井潜

◇赤ん坊の頬っぺた（散文詩）……賀川豐彥

◇スタイナッハ若返り法研究……醫學博士 榊保三郎
若返りたい、何時までも青春期でありたいとは萬人の願ふ所だ、我學界に怒濤を卷き起した「若返り法」の主人公榊博士は茲に精細なる實驗を遂げて其可能なりとの新說を脫稿した、本論の發表は再び學界に大問題を惹起するだらうと思はれる重要長論だ

定價 金八拾錢（郵稅五錢）　半年 五圓六拾錢（郵稅不要）　一年 拾壹圓貳拾錢（郵稅不要）
東京芝櫻田本鄉町 振替東京八四〇二　改造社

形式的挨拶に非ず
海軍縮小案提示要請
加藤海軍中將米海軍訪問

【華盛頓電報】二十四日加藤寛治中將は米海軍省を正式に訪問し米の挨拶を爲し終つて米國の海軍縮小案を速かに提示せらる、を得ば日本側の研究に資する所尠からざる旨を述べたるが右は勿論單に形式的挨拶に非ざることを諒するに足るべし而して米海相は二十五日日本隨員一行の旅館に到り海軍縮小は理窟の問題に非ず實際的且つ事務的に處理せざるべからざる問題なりこ言明し種々意見を述べたり日本側の見解は之れに依つて日英米三國が同時に縮小案を提示せんことを要求せず米國先づ主備國こして第一に提案すべしこいふにあり尚米國全權は二十四日午後の會議に於て米國海軍省次官及び作戰部長より書類の提示を受け一同長時間に亘り軍備縮小に關する討議をなしたり

軍備問題參加國
英米佛伊日本の五個國
支那外三個國は不參加

【華盛頓電報】國務省當局は軍備問題及び極東問題討議の參加國の範圍に就き混同の懸念あるより下の如く言明せり「軍備問題には英、米、佛、伊及び日本の五ケ國のみ討議するものなり之れに反し支那、白耳義、波蘭、ホルトガルの四ケ國は極東問題の討議に參加するも軍備問題討議に加はらざるものなり」こ

臨時列車增發
＝我全權の爲め＝

【東京電報】大北鐵道同盟罷業のため德川加藤の全權一行華盛頓到着に遲延を來す虞あるも米國官憲は右全權一行のため特に臨時列車を出すべく全部其の準備をなしあれば豫定の如く十一月三日頃には華盛頓に到着すべしこ

英首相船室を約束す

【紐育電報】首相ロイドジョージ氏は十一月三日マクドニャ號にて紐育に向け出發すべく船室を約束せる旨キュナード汽船會社員は語れり

國際勞働會議
二十四日ゼネバに開會

【倫敦電報】國際勞働會議は二十四日ゼネバに開かれ參加國十八個國其代表四百名に上り獨逸側の委員も加はりたるが獨逸國旗は始めて會場に飜れり初日の會議に於て正式にロバーノム氏を議長に推薦せり

正式退位要求
カール廢帝に對し

【倫敦電報】匈牙利政府はカール廢帝に正式退位をなし英國官憲の命に服從すべき旨を要求せり

英國の大航空船註文

【東京電報】某所著電＝英國新聞の報ずる所に依れば英國は今回獨逸に對し七百萬立方カウトの容積を有する大航空船を註文せんこして之れが建造に必要なるシエトソッピーハーゲンの航空隊繫留場の破壞中止を提議したり

英愛會議小委員會延期

【倫敦電報】公報に依れば英愛會議繼續條件の期間を議了せんこする小委員會は議事未了の爲め延期されたり

ホノルル記者大會終了

【東京電報】某所著電ホノルルに於て開會中なりし世界記者大會は二十一日終了せり開會中極東及太平洋に關する政治問題は議事に上らざりし由

東宮參謀本部行啓

【東京電報】皇太子殿下には二十八日午前十時高輪御所御出門參謀本部に成らせられ上原參謀總長より[illegible]に關する講演を聞し召され還啓あらせられたるが二十九日は新宿御苑に成らせらる、御豫定なりこ

支那代表寄港

【神戶電報】華盛頓會議に臨む[illegible]の支那代表團[illegible]氏等の一行は二十七日シルバーステート號にて神戶寄港二十八日橫濱に向へり

日本石油總會

【東京電報】日本石油會社定時株主總會は廿七日午後一時より丸の內鐵道協會に開會利益處分案を可決し夫れより寶田石油この合併に關する臨時總會を開けり

上海に於ける獨逸商の復活

在上海總督府囑託林太三郎氏の報告に依れば獨支通商恢復以來上海に於ける獨逸商店の開業するもの既に十數家に達す商業地より漢口方面に出動し開業準備に着手し居るものも相當ある模樣なり從つて支那・日本・獨逸間の定期貨物船亦最近十五、六隻に增加せり荷蘭輪船公司の

臨時船二隻

を取扱ひ居れる好分洋行は今回更に三隻を增加せり中一隻は本月上旬既に上海を出帆せり一隻は今明日に上海に入港し他の一隻は本月下旬上海に來航する豫定なり獨逸に於ける二大汽船會社たるハ堡亞米利加、北獨ロイトの二社は今回提携して歐洲東洋間の航路を復活すべく目下準備進行中なりこ報ぜらる義に兩社が

資本を增加

し漢米か米國ハリマン會社に聯絡しロイドが米國邦船こ提携し新發展を企せる邊り口に見れば東洋航路の復活又意外の進捗を見るべく如所にして獨逸が低廉なる生產費を以て製造したる製品を印度及支那に仕向くるに到らば本邦對支貿易に打擊を與ふるならんこ危惧せらる、なり

日支親善に努力
間島方面の事情
延吉道尹　陶彬氏談

二十七日午後七時南大門著列車にて入城せる中國延吉道尹陶彬氏を水色に出迎ふ其談に曰く

間島の事情は大體に於て既に御承知の事こ思ひます、同地は日本の四國のやうな土地で形に於ても面積に於ても甚だ似通つた所があります間島大密林より伐出される材木の數量は實に夥しいものであり然も、肥沃な痩果しなく連なつて居ります、粟、豆等は其主要なる農作物で猶又開發せられない幾多の金銀鑛が全島に其脈絡を伸べて居ります、間島在住の鮮人は無慮三十萬の多數に上り

支那人十萬

を出でずこ云ふ狀態で宛ら鮮人の別天地であるかの如き觀を呈して居ります夏期は密林の緊材を利用し冬季は結氷の江河を利用して例の馬賊の橫行するのは甚だ遺憾こする所でありますが此れは私の道に於て

充分に警戒

を加へてゐますから漸次襲ひも尠くなるこ思ひます、日支國境警備の當路者が相互に意思の疎通を計りに東西呼應して國際的觀點を重んじ難物を一掃するに於ては一擧手一投足の勞のみでありまして私は切に此點を慮かり荷くも馬賊の侵入は將來絶無たらしむべく今後大いて努力する積りです云々

英皇儲外遊の途に就かせらる

【倫敦電報】英國皇太子殿下には二十三日正午ビクトリヤ街停車場御出發印度及び極東御巡遊の途に就かせられたり當日は皇帝皇后の兩陛下を始めコンノート殿下其他の皇族及び各大臣の見送りありたるが殿下には御發車間際首相ロイドジョージ氏こ何事か御話しあり民衆は盛んに歡呼の聲を擧げたり殿下には車窓より御顏を出し民衆に別れを告げたるがヘンリー親王はポーツマス迄御同乘申上げたり

勅語謄本下付
＝京畿道各學校へ＝

京畿道管內左記各學校に對し今回教育に關する勅語謄本下附せられたる由

▲九化公立普通學校▲吉祥公立普通學校▲午川公立普通學校▲新葛公立普通學校▲栢沙公立普通學校▲陽谷公立普通學校▲仁宗公立普通學校▲南面公立普通學校▲永宗公立普通學校▲鶴水公立普通學校▲奉川公立普通學校▲松隅公立普通學校▲漢江公立普通學校

內鮮人婚姻屆に就て
田中京城府民籍主任談

內鮮人婚姻の屆出に對しては二三度問合せの向もありしも改正後の屆出調帶は頗る面倒なるものにして或は其の形式等に就いて徹底せざる傾きあり、即ち本制度は本年六月七日朝鮮總督府官報揭載府令第九十九號を以て朝鮮人こ內地人この婚姻民籍に關する手續の件を發布され內地人が朝鮮に於て婚姻をなしたる時は、夫が內地人たるこ朝鮮人たるを問はず本令に基き必ず十日以內に夫の本籍地又は所在地の府尹又は面長に之が屆出を爲すべく又本令施行前朝鮮人こ內地人が爲したる婚姻又は離婚にして、民籍法又は、戶籍法に從ひ、申告又は屆出をなしたる者に付いて、當事者、戶主其他の利害關係人より更に夫の本籍地又は所在地の府尹又は面長に民籍法に從ひ既に申告又は屆出をなしたる事實を申告すべき事を規定され七月一日より施行したるが此等該當者は多數あるにも拘らず屆出なきは甚だ奇異に感ずる處にして民籍上身分の登錄を受くべき事肝要なり云々

朝鮮に對する予の希望
鮮人を侮辱する勿れ
農業政策を樹てよ
添田增男氏談

東京辯護士界の重鎭添田增男氏は目下京城覆審法院に開廷中の仁取大疑獄事件訴訟代理人こして廿七日朝來城し京城ホテルに滯在中であるが訪往の記者に對し朝鮮に於ける希望こして左の如く述べた

『私は今度で三度目の渡鮮だ始めは大正七年七月で其の頃こ今回こは隔世の感があるこ第一に認めるのは植林事業の成功である、釜山からの鐵道沿道で禿山許りであつたのが至る處青味を帶び禿山が皆無の有樣で總督府の植林事業成功から人民の幸福即ち田畑の荒廢を防ぎ水利の便も出來其他得る處多大である自分は日淺くして良く解らぬが總督府に注意したい事は尠くない樣に思ふ

鮮人に接して

親しく意見を聞に內地人が下層社會の鮮人に對しヨボ〳〵こ云ふこれは非常に鮮人側の感情を害してゐる鮮人の相當學識あり常識ある人々は公平に判斷して好感を持つてゐる人もヨボこ呼ばれるこそれを放擲し內地人は鮮人を斯くの如く侮辱するものかこ却て憎惡の念を抱くのは人間の通有性こして無理からぬ事であるこれを

一般に注意

する事が先づ第一の急務である、又朝鮮人は官公吏になつても內地人こ肩を並べて出世が出來ないのが遺憾である殊に鮮人を冷遇して居るこ誤解してゐる連中があるが之は甚だしい僻見である、寧ろ鮮人を多く優遇して用ひたいここそ思つてゐるが冷遇などは毫末も考へない方針であるから其の點を段々說き聞かせ此の鮮人の一大誤所こ云ふべき僻見を矯正する事は一層一般人が努める事である。然し乍ら

總督政治

に對し不平が無い寧ろ好感を以て迎へてゐる樣で非常に喜ばしい現象だが更に此の上一層の注意を農業政策に向け鮮人の保護に努めたらば不逞鮮人こ稱する徒輩も一掃されるこ思ふ、所謂不逞鮮人なる者は內地人が盛に居住し來り鮮人生活を壓迫するかのやうに誤解し遂に其の群に投ずる者も少くない樣子なれば農業政策を十分に講ずれば、より以上の農產物の收穫を見るこ思ふ、鐵道

沿線の田畑

を見るに何れも其の耕作不十分で手入や肥料の不足を容易に見る事が出來るのは遺憾である』

全權を援けて

[illegible]華府會議の中心問題である軍備制限は[illegible]が今日では十二億圓に上つて居るが米國も大正二三年頃[illegible]を欲して居るのであるから、此は地理上並に歷史上特種の[illegible]の向きもあるかも知れぬが是は[illegible]肯意であらう、日本も亦[illegible]を解決する必要がある西伯利主義こ誤解され若くば誤解して居る[illegible]國もあるまいこ思ふ保護國こして特種地位にある事を了解するが故に移民を送らない、國家の存立上日本の主張が正當である事を參列諸國に知ら[illegible]

秋十日の旅
支局廻りの記
秋月生

十九日夜汽車で天津に下り翌朝八時拔錨の大連汽船會社の長平丸に乘つた關東廳長官山縣氏既に船內に在り同氏は青島視察に行かれて歸り途の都合で天津迄鐵道夫から船こ云ふ事にせられたが少し時が餘るので十九日北京萬壽山等をさつこ見物せられたる由吾輩は初對面であつたが淡泊にして和平なる態度で接して實に心持のよい紳士である考へは平民主義であろうこも說は平等主義であろうこも風采はごこ迄も貴族的である無頓着で和平な高ぶらぬ所が學べぬ所である平民的擧動は却て平民には六かしい、

船は翌朝九時頃大連埠頭の棧橋についた廿四時間以內の航路であるそうだが風の爲め少し遲れたこの事風はあつても左迄搖れもせず奉天を經ての汽車旅行に比すれば早くて樂で其上…だから船便のある時は船に限るこ思ふ船は頗る清潔で料理もよく船員一同の接客振りも申分がなかつた

大連市街を一こ通見物して星が浦へ電車で行つた大和ホテルの別館あり貸別莊あり金持の別莊らしいのも大分見ねた好評嘖々たるも當然である京城仁川間の距離は大分長いが交通が頻繁になれば一時間こ少し餘でいける列車が度々出せるだろう自動車なれば却てこれ位の距離はある方がよい位であるなど無責任な考へでもあろうがそう思つた大連には十二三年前、一寸來たここがあつたが勿論大變な發展である活氣が充滿して居る樣な感じがした翌月旅順に行つて山縣長官の午餐の馳走になつた丁度白井哲夫氏も一緒になつた大連會議の樣子を見に來たこ云つて居られた旅順は靜かこ云はんより寧ろ淋しいこ云ふ感じがした大連迄大道路が出來る事になつてゐるそうだ之が出來たら大分變るかも知れぬが大した事もあるまい軍事上今日はもう何程の價値もないこ云ふ話ではあるが夫でも全く放棄する譯にもゆくまいから港灣位置いて主な役所なんかは大連附近に移したらごんなものだらう

一體關東廳こ云ふものが昔日は兎もあれ今日はもう入用がないこ大連の或る會社の人が云つて居たが土地の事情も知らず又會て考へた事のない問題であるから々自說はないが政治は[illegible]む一方のものだから格別入用のない役所は廢するがよいこは勿論の事であるから問題にしたらこは思ふがそう云へば不用な役所は他にも隨分ある

建値問題は既に片付いた事こ計り思つて居たのに大連に來て見れば中々そうでない又そうでない譯も少し分つた氣りであるさつこ考へて居るこ大切な事も輕く看過することが往々ある

金融問題に付いては全然素人で聞いた處で分りもしまいこは思が兎も角金銀兩說を聞くここ、して鮮銀正銀の支店長に逢はんこしたが鮮銀の大田氏は不在で逢へなかつた正金の支店長に逢うたが意見は既に述べるだけ述べたが其筋に採聽せられず遂に金建こ決定せられて落々實行を監視して居られるから最早何を云うても無益こ思ふ事實が自分等の意見の誤らざるを說明しつ、ある倘ほ一層明かに且つ大に說明する事にならうかこ自說の正しい事が證明せらる、のは愉快であるべきではあるが日本經濟界の爲には憂慮に堪へぬ經濟界外に迄惡影響を及ぼす事がありはすまいかこ迄思ふ云々こて多く語るを好まれぬ樣子であつたから強て聞く事を求めず唯問題の性質こ範圍に付いて講義を聞きたいこ云ふた處大變な素人だこ定めて驚かれたであらうが色にも現さず講義をしてくれられた

性質範圍の講義上に意見があらはれることは往々免れぬものであるから自然こ說き落されたのかも知れぬが（講義する人に其意思があつたのではないが）銀建の方がよくて金建を强ひたのはよくなかつたのであらうかこの疑ひが起つた尤も支那は銀國であるから支那貿易は銀を主こすべしこの論を是迄度々聞いて居て成程そんなものかこ思つて居たせいもあらう。（續く）

局部長會議
正午より開會に變更

例定總督府定例局部長會議は二十八日正午より第一會議室にて開會總督政務總監以下各部局長出席午餐を共にしつ、各種問題に付協議打合せをなしたるが從來同會議は每週火金兩日午前十時より開會せらる、例なりしも斯くては官廳に於ける主要時間を本會議の爲に費し政務進捗上尠からざる支障ありこし今後は正午開會午餐を共にしつ、會議をなすことに變更せられたりこ

國庫債券募集
十一月五日より

各郵便局所に於て十一月五日より同八日まで五分利國庫債券の募集を爲す事こなるべく條件左の如し

一、申込金額千圓以下のものに限り受理

二、現金拂込の應募のみを取扱ひ證券代用拂込のものは取扱はず

三、額面百圓に付九十四圓二十五錢

四、保證金額百圓に付五圓

五、拂込期日は募入確定の際申込者は大正十年十一月二十五日迄に最初の申込を爲したる郵便局所に應募金額の拂込をなすべし

六、其他前各項の外は大正十年大藏省令五分利國庫債券の募集及發行規程の定むる所に依る

會計課長會議

遞信局にては鮮內分掌局會計課長會議を來る十一月十五日頃開催し各局來年度豫算協議をなすべしこ

都市研究會協議

京城都市計畫研究會にては二十八日午後二時より商業會議所に於て第一回幹事會を開催し左記事項に付協議したり

一、本會顧問、相談役、評議員の人名內示相談に關する件

二、調査部員選定の件

三、調査部設定の件

四、幹事中より會計事務當番者選定の件

五、會費徵收方法の件

天長節奉祝設備
總督官邸に於ける＝官民二千餘名を招待

今上陛下第四十三回御誕辰祝日を奉祝せむが爲め總督府に於ては例に依り總督官邸裏山一帶の地を以て園遊場こし官民約二千餘名を招待し盛大なる祝賀會を開催すべく既に各方面に向け案內狀を發送し目下掛員は之が準備に忙殺されつ、あるが場所は幽邃の仙境にして紅葉錦繡を織り秋色正に酣なれば秋晴の小春日和に其半日を行樂に過ごすには蓋し絶好の場所たるを以て當日は非常なる雜鬧を呈すべく而して今其

設備の大要

を聞くに總督府官邸裏、山上、小徑の隨所に模擬店及び餘興場を交互に各十數ケ所を設け又憲兵隊司令部廣場には一大食堂及び餘興場三ケ所を設け餘興も亦多く模擬店にはすし、うどん、そば、ビーヤホール七瓶むし、卯の花汁、臨匠料理、おでん、婦人ホール朝鮮料理、支那料理、紅茶の十五ケ所あれば

下戶に好く

上戶亦喜ぶ餘興には松茸狩、玉ころがり手品、芝居、仁輪加、吹矢の八ケ所を置きたれば松茸狩に轉ぬ御用心肝要なるべく、仁輪加に頭の外れぬ御用心大切なるべし かくて感興酣に湧ける後午後四時食堂を開き賓客卓に著けば喇叭たる奏樂につれ君が代を合唱したる後總督の發聲により陛下の萬歲を三唱し一同盃を擧げて乾盃し後隨時憲兵隊司令部正門より退散の順序なりこ當日一般に關する注意事項こして總督府に於て發表したもの如左

一、受付は總督官邸正門前に設く

一、招待を受けたる者は受付に於て招待狀を示し徽章食卓券順序等を受取らるべきこと

一、招待狀は必ず持參のこと

一、小兒其他招待以外の者は混雜の虞もあり且設備に制限あるを以て同行を謝絶す

一、代人の入場を謝絶のこと

一、從者は一切入場せしめざるに付き正門より引返し車馬置場に於て待合せのこと

一、自動車、馬車人力車の置場は憲兵隊司令部正門前及び自動車庫に定めあるを以て同所に供待せしむること

服裝は

フロックコート紋付羽織袴、帽子はシルクハツト、黑山高帽こし婦人及鮮人は同相當服こす

一、背廣服、袴、薬用なきもの、紋羽織等は入場を謝絶す

一、受付より先は掛員の案內により綠泉亭上に到り同所に於ける掛員の案內に從ひ待合所に入ること

一、模擬店は午後二時半爆竹の合圖を以て開始す

一、模擬店開始の際は坂路にもあり且混雜を防ぐ爲婦人の入場を先にすべければ待合所に於ては婦人は可成模擬店入口附近に於て餘興を觀覽せられたきこと

一、食堂へは混雜を防ぐ爲第一爆竹を以て王族、親勅任官同待遇者、領事及婦人入場し第二爆竹を以て一般來賓入場の順序こす

一、食堂に於ける食卓位置は受付に於て交付の食卓券に明記しあるを以て右席札以外の場所に着席せられざること

一、君か代奏樂の際脫帽のこと

一、園遊會場に於て負傷若くは疾患に罹りたるものに就ては救護所の設けあるを以て掛員に申出で手當を受けらるべきこと

一、遺失品等に就ては掛員に申出でらるべきこと

土產ぐさ
地方開發ご施設
內務部長訪問記

平壤の昨今は
躍進的發展
工業益に勃興
市街益々擴大せん
對岸一帶地價高騰
平井平南內務部長談

◆平壤多年の懸案たる動力問題の解決に就ては電興會社が當面の責任者こして着々其の步を進めて居ります

◆例の完全燃燒爐の如きも漸く成功の端緒を開き近く實地に用ゐられやうこして居るのは、甚だ喜ばしい事であります、平南十里の野に拋棄せる無煙炭も同爐の完成によつて實用に供せられ大小幾多の工業を起すべき動力の源こなるべきは茲に喋々を須ゐるまでもありますまい

◆然るに平壤電氣會社に於ても此程果斷を以て動力の低廉給供を發表し續いて電燈料の値下を斷行致しました動力を安價に而も無限に供給し得る所には自ら諸工業の誘起さるべきは勿論であるが平壤の現在叙上の如き一二會社の活動にのみ止まらず聽て半島に於て一大工業都市こして大陸の一角に雄飛すべき幾多の中心的企業を胚胎しつ、あるのであります

◆陸軍兵器廠は動き始めました……大日本製糖の工場も既に業務を開始して居ります、小野田セメント、寺洞鑛業所次で又前述の電興會社も爭ふて操業に忙殺されて居ります、加ふるに牡丹臺の對岸に於る航空隊の活動を始めるのも來月早々こ云ふ運びになつてゐる一方では平壤對岸を連結すべき人道橋建設の礎も築かれました、然も亦平元鐵道の敷設成らんこして地方人士の入り來る者も日に踵を連ねるの盛況を呈し道當路者の企畫に係る都市計畫の發表を見るに前後して平壤都市研究會の發會式が擧行される、市街の面積は遠からず倍餘に擴大されるこ云ふ有樣で對岸一帶の地價は騰る、建築熱は逐日昂騰の氣味を辿り勞銀は上る住宅難は緩和されるも

◆斯くて朝鮮人の側にありても大小の企業を起すこ云ふ狀態……實に平壤の昨今は躍進的こ云はうか青春時代こ云はうか宛ら盆こ正月が一時に見舞ひ來つた形であります、此間物產陳列場の主催で家庭工產品展覽會が催された、するこ十日間の入場者が十二萬五千六百人こ云ふ空前の巨數を算するに至つた此一事を見ても平壤の人士が如何に企業に目醒つ、あるかを窺ふに難くないのであります

◆獨立運動だの不良鮮人だのこ空虛な幻影に脅威されて騷ぎ廻つてゐたのも昔の夢です、此で平元線の敷設こなり鎭南浦港の一大改修を見に至つたら日本海及北鮮方面この經濟上の連絡は立所に取れる譯でありますさうなれば全く鬼に金棒で恐らく二十年後の大平壤は大陸を動かす商行の地こなり京城シリ喰への發展振りを見せるのも強ち架空な豫想ではありますまい云々

莨密輸入取締

總督府にては本年煙草專賣令實施以來極力其の密輸入取締に任じ違反不法の行爲者に對しては假借なく規定の罰則を適用しつ、あるが時こしては密輸入品を發見することあるより今後は嚴重取締るべしこ

京城府協議會

京城府協議員會は二十九日午後二時より府廳會議室に於て開會すべく協議事項左の如し

一、地租名寄帳整理の件

二、東京平和博覽會出品整追加豫算の件

鮮銀支配人異動

朝鮮銀行にては二十八日附を以て左の如く各支店支配人の更迭を行ひたり

元神戶出張所支配人　木原小平

下關支店支配人　久我清廣

總務部員

龍井村出張所支配人　池田五郎

經理課長

仁川支店支配人代理　龍井村出張所支配人　磯野充意

檢査部員　仁川支店支配人代理　平田實

久我氏は目下病氣靜養中にて當分勤務難かるべしこ

勤務演習簡閱點呼該當年次
及出願期日

在留地に於ける勤務演習、簡閱點呼該當年次、及出願期日左の如し

一、大正十一年度丙種勤務演習に召集該當者左の如し一、豫備役兵卒步兵は大正四年同六年兵騎砲工衛生部は大正五年兵

二、後備役兵卒步騎砲工兵は明治四十二年大正元年兵衛生部は明治四十一年同四十四年兵

三、既教育補充兵步野砲工兵大正七年同九年兵

四、看護卒歸休兵大正八年兵豫備役兵大正四年同六年兵後備兵明治四十一年同四十四年兵

備考　朝鮮に在住する輜重兵交通兵工兵鐵道隊兵電信隊兵航空隊兵氣球隊兵は丙種勤務演習に召集せられず

二、大正十一年度簡閱點呼に參會すべき未教育補充兵各兵科共大正元年同四年同七年同十年度徵集者なり但し前年事故者は十一年度參會を要す

三、出願期日大正十一年度の分勤務演習は本年十一月三十日限り簡閱點呼は大正十一年三月三十一日限りこす

文化展覽會開催

府內校洞公立普通學校落成式に繼ぎ十一月九日より五日間同校舍に於て開催さる、文化展覽會は目下各學校長に於て出品物を蒐集中なるが本月末日までに取纏め來月一日より陳列に著手し七日までに了る筈なるが出品物は電氣及び瓦斯、敎育成績品、理科學機械標本、敎育衞生、產菜生產品、運動具樂器、美術工藝、玩具讀み物、通信交通計器等にて十四敎室を陳列場に充つる筈なりこ

平壤航空隊先發隊着期

目下新築工事中の平壤航空第六大隊兵舍は殆んご完成を告げ近く竣成式擧行の筈にて既に同大隊は第二十師團長の令下に入りたるが先發隊は第一中隊長服部崇太郎大尉以下十三名のもこに來月五日著し諸般の準備を整へ十二月より飛行準備に著手すべしこ（平壤）

庶務主任會議

京畿道府郡庶務主任會議は前日に引續き二十八日午前九時より道廳會議室にて開かれたるが出席者二十二名道廳より關係各部課長列席し諸般の通り提出意見に對する指示並に打合せを爲し正午休憩午後一時より再開せり

佛領事の謝狀

今回朝鮮遞信協會特別會員に推選せられたる京城駐在佛國總領事イーガロア氏より二十六日附竹內會長に對し謝意を表する旨の書面を送りたる由

京城彙報發行

京城府廳より發行する『京城彙報』は創刊號を十一月中旬發行すべく木村內務主任以下調査係り一同專ら材料蒐集中なるが本誌は統計雜報を主こし趣味記事をも加へて新聞雜誌類のものこし諸官廳銀行會社府政關係者、町洞總代等へは無代配布し一般希望者へは定價十錢にて頒布するこ

島崎參謀長歡迎會

目下來城中の島崎鎭海要港部參謀長の爲め安滿軍參謀長は二十八日正午朝鮮ホテルに招宴歡迎午餐會を開けり

野手耐氏送別會

遞信局海事課長より總督府營林廠長に榮轉せる野手耐氏送別會は廿八日午後六時より朝鮮ホテルに於て開催したり

岡山縣人會總會

在城岡山縣人會にては來る三十日正午より市內奬忠壇公園甘泉亭に於て創立總會を開催し會長及役員の選擧を行ふべしこ

人事消息

▲白上佑吉氏（新任京畿道警察部長）二十八日朝上陸十時にて北行（釜山電報）

▲水野政務總監夫人一行　は豫て東萊溫泉に滯在中なりしが二十八日午前十時釜山驛發列車にて京城に向へり（釜山電報）

▲陶彬氏（支那延吉道尹）二十七日夜奉天方面より入城二十八日午前十時二十六分南大門發滿鐵行列車にて歸國の途につきたり

▲泥谷良次郎氏（本社編輯局長）東上中の所二十八日朝上陸十時發午後七時五十分南大門驛著（釜山電話）

▲川田治一氏（朝鮮文官學院長）二十八日朝上陸十時にて北行（釜山電話）

▲小山庄三氏（鈴木商店京城支店長）同上

▲島崎海軍大佐（鎭海要港部參謀長）來城中の處二十九日發歸任

▲ジョノー少佐（佛國將校）▲關岡少佐（航空部）十一月五日來壤六日入城七日夕發內地に向ふべしこ

…晉州郡の六百餘石の出檢ありしのみにて原因は價格が農民の豫想に反し安價なる故採算上自家…

愛婦委員部總會

【清津】愛國婦人會の清津委員部は二十三日正午より清津座に[illegible]講しむる[illegible]府尹が熱誠な演說を試むるやられて大に國境に近い都市に活動する婦人達の覺醒を叫んだのである、午後四時か親會を催した

山口縣人會開催

【新義州】新義州山口縣人會は二十八日公會堂食堂部で秋季懇[親會を催した]

東宮の映畫公開

【平壤】大阪朝日新聞の東宮殿下[illegible]時より平壤[illegible]にて秋季大運動會を開催する[illegible]立錐の餘地なき盛況を呈した[illegible]

新義州在監囚徒

【新義州】新義州監獄の本月二[illegible]ないと

仁取手數料問題陳情書
仲買組合より提出

【仁川】仁川米豆取引所仲買人組合は豫て取引所並に仲買人との間に於ける手數料分配率の變更に就て訴へる處があつたが今回委員長並に委員五名の連署を以て仲買の痛苦を訴へ當然現行手數料の分配方法に改善を要するものなりとて左の如き陳情書を廿四日總督府に提出した

陳情書

取引所對仲買人の手數料分配率を改訂せられたき件本年參月拾參日附にて首題外參件に關し當業者の窮狀並各地分配率等を具し及陳情候處幸に他の參件中には御聽許を得著々實施せらるあり其効績顯はれ當業者等は各應分の利益に均霑し其の恩惠を奉謝謝居り候然るに吾人の最も翹望しつゝある首題に關しては既に御詮議中とは恐察仕り居り候へ共未だ何等の御指令に接せず痛心致し居り候處仄聞するに客日取引所より御府に首題ヌ訂方を願出てたる趣利己の念に沒々たる取引所當事者の漸く發露し來りたる處に堪へざる處なるも其の改訂の率に於ては或は吾人の期待と相距ること遠きものあらむと推想せられ候に付ては再び茲に吾人の窮狀並各地分配率と現行分配率との比較を左記に具し及陳情候條事情御賢察の上別表第貳號の分配率（省略）に御改訂被下度奉懇願候

左記

一、仲買人の收受する手數料少き爲合の弊害　イ、純手數料主義に依る經營不能なり手數料のみを主眼とせば利潤勘きを以て金切なり處分嚴格ならい從て客は賣買の委託をなさざるに至り經營不能に陷る　ロ、倒產者多し、金切り處分を緩にし客の吸集を計るには之が爲戒として向ひ米（豆）をなさざる可らず斯業の經驗淺き經營者の大部分は手仕舞の期を失し遂に[illegible]損害を被り多額の損失を受くる者も多く現に休業せるもの二店經營困難にして氣息奄々たるもの數店あり　ハ、市況不振の因を爲す仲買店の經營困難なるもの續出せば客は一般仲買店の內容に疑惑を抱き自然出入減少し市況不振なる影響を及ぼす

二、取引所と仲買人との危險負擔の差　取引所は所屬仲買人より多額の身元保證金及建米に對する相當證據金を收納し價格の變動に從ひ臨時追增證據金を徵收するの便あり然るに仲買人に在りては一定の證據金を收受し延米豆の受託をなしつゝあるも一朝相場の激變に際會せば追證納入を忌避し大部分の客は其の姿を見せず爲めに追證收受の機を逸し不測の損害を被る場合多し殊に本月三日四日の如く高値四十一圓安値三十二圓の亂高下を現出したる場合に於ては到底客より收受せる證據金の範圍內に於て受託せる延米を處理することは不可能にして其の損失及取引稅並取引所に納付すべき手數料迄も一時仲買人の負擔とならざるを得ず然るに委託者にして從來斯る場合に於ける債務を相償ひし者殆ど無く結局仲買人の損失となり居れり

三、現行手數料分配率は仲買人定員拾五名の時に於て制定せられたるものにして現今の如く總數二十九名に及べる場合は其の率に依るは前述の如く危險負擔の度多きものに對する反對給付として甚だ余りに少額ならむと思料せらるゝのみならず人の多くは新奇を好むの癖あり從て新規開業者の增加に依り客の分布漸く減し爲めに其の爭奪に[illegible]ることの弊を顧慮し將來に於ては內地各地の分配率と比較するに別表第壹號の如く大差あり現今の狀態に於て獨り當取引所の如き分配率を施行するは特殊事情あるを認むる能はず取引所の收益は克く全國に冠絶し每期六割乃至七割五分の配當をなし尙多額の積立金を成したるに所屬仲買人中幾多の破產者を出し而かも二十名を算するの內純手數料の收益のみに依りて生產を營み得たる者一名もなきに徵するも分配率不當なるは明なり

右及陳情候也

大正十年十月二十四日

株式會社仁川米豆取引所仲買人組合
委員長　坂倉伊平
委員　小林藤右衛門
同　今村慧次郎
同　吉谷喜三郎
同　淺野太三郎

朝鮮總督男爵齋藤實閣下

羅南の觀兵式
機動演習の最終日
二萬の精銳を集めた羅南練兵場の大壯觀

【羅南電話】羅南第十九師團の機動演習は十六日より全師團一萬の精銳を出動せしめ明川羅南會寧淸津等の平野にて擧行され北部に旅團演習を行ふ第三十八旅團が南下しつゝ北軍、三十七旅團が北上しつゝ南軍となり南部に轉戰しつゝある第三なり二十三日より旅團對抗演習を試み二十六日二個旅團合致しての假想敵に對する總攻擊を以て終り同日正午より羅南練兵場に於て全軍の觀兵式を擧行し來北中の大庭大將之が閱兵を行つた斯した大規模の觀兵式は羅南師團創始以來未曾有の事であり且つ當日は恰も小春日和にて遠く地方より集まる農民の數も多く五千と註せられ其壯絶なる威風には等しく驚きの目を睜り敬意を表してゐた

大庭將軍出發

【羅南特電】羅南地方に出張中なりし大庭軍司令官は二十六日夜羅南發淸津を經由して歸城の途に就いた

咸興聯隊還る

【羅南特電】咸興第七十四聯隊は秋期機動演習參加の爲め羅南地方に在りたるが二十七日午後五時安原少將引率の下に御用船萬盛丸にて歸隊した

仁川船渠水浚へ
幾萬の魚族は潑溂として　掛聲勇ましい引網で揚る
來る六日の日曜日

【仁川】仁川築港の船渠使用開始して滿三年になる此間一度は水を交へたらとの議もあつたが船舶繼續して其機が無かつた然るに茲に雛ひも應でも船渠を浚へなければならぬ

自然の機會が 來たと云ふのは最近仁川稅關の汽艇に修繕を加ふる爲め其船體を檢査した時驚くべき重大な事實を發見したそれは俗に船喰ひ蟲と云ふ原名『テレド』と稱する害蟲が發生して僅に進水して一年半を經たに過ぎぬと云ふ船體が吃水以下の木材は悉く蜂の巢の樣に蝕害を受けてる事實を發見したのである、普通ならば數十年は優に堪ゆべき船材が僅一年半で腐蝕用を爲さぬ程

被害の激甚で ある事は正に由々敷問題と云ふ事で研究を始められたが元來此の害蟲は被害の强弱多寡には依れ何れの築港にも多少は存在するものであるそうだが仁川の築港の如く其の猛烈なる侵蝕力を逞しうするものは稀だと驚異されて居る之が驅除或は被害豫防の方法は無きにしも非ざる樣だが差當り此の怖るべき驅除力は或は一年間も大部分の水が變らなかつた事に依つてより多く

害蟲の發生 を容易ならしめたるものでは無いかと茲に先づ第一着に三年越しの水を取り換ふる事になつたのである船舶の碇繫する船渠の事であるから先づ船舶同業者を稅關に呼んで意見を徵した處何れも大贊成と云ふので明日を來る十一月六日の日曜と決定された此日は出來るだけ船舶は仁川港を避くる船舶繰りを執り入渠中の船舶は悉く港外に出した上三萬坪に亘る

船渠の水浚 へをするのであるが最も興味ある事は一度還入つたら出る路を失ふ幾萬の魚類が三年越しに如何に群生して居るかで當日は仁川水產組合に託して引網を曳いて悉く捕る事になつて居る、當業者の

巨口細鱗潑溂 として見込みでは鰮だけでも三萬迄は優に居ると其他鯔あり海鰻あり石首魚ありメバルあり鯛も居れば仁川では容易に獲れぬサワラの大尾も鐵に幾百となく棲んで居るなどは珍しい話である曳網で揚る光景は沖の漁師より外見られぬ光景それが岸壁に佇むで見物でも出來るとは恐らく千載一遇の出來事だと噂されて居る、稅關では特に一般參觀をも開放しようとの厚意であるから定めし雜沓する事だらう

穀物移出額
全鮮四百萬石

【鎭南浦】鎭南浦本年の出穀は恙例の巨額となり九月末日迄に大豆の十八萬石米穀の十六萬石小麥の十萬石を主として合計四十九萬六千石に達したるが是を鮮中の他港に比すれば仁川を一位とし百十五萬石、釜山を二位とし九十三萬石の振合なるを以て第三位に屬する譯にして第四位は群山の四十五萬石、第五位は元山の二十萬石、第六位は木浦の十三萬石なるが九月末日迄の全鮮の移出總量は四百萬石米穀二百二十萬石に及びたり

北寄貝の罐詰
一時に買氣付く

【淸津】內地相場不引合の爲め停滯して居た咸北雄基の北寄貝罐詰も最近に銀塊の騰貴に支配されて相場漸次上向きとなりたる爲め一時に買氣付き數日前の便船にて集荷せる罐詰全部內地に移出されたる爲め同地方の水產界は俄に活況を呈して來た

普校新設認可

【釜山】豫て釜山府より道廳經由申請中なりし府內中島町普通學校新設の件は廿七日附其筋より認可の指令ありたるが十一年一月一日開校と同時に校名を富民洞公立普通學校と稱し同時に現在釜山公立普通學校に收容二部敎授を行ひつゝある四學級を移し收容の豫定にて兒童收容定數は七百廿名なりと云ふ而して校舍の新築は未だ一部敷地の買收完了せざる爲め行惱みの姿にて斯くては豫定通りの開校覺束なければ所有地主の慾の皮の突張り樣にては土地收用法を適用の已むなきに至る可しと

京城釜山電話
一回線增設さる

【釜山】近來輻輳に輻輳を重ぬる京釜間通話も愈に報じた通り豫て架設中であつた釜山京城間專用電話工事が十七日竣工を告げ愈近く開通を見るのと釜山大邱間の電話は從來通信との共用線であつたのが之れと同時に新に一回線增設されたので今後は幾分か長距離通話も荷を脱して迅速に相互間に利便を享くる事となる譯である

期成會に電報

【鎭南浦】元山に於て廿八日開會の平元鐵道期成市民大會に對し商業會議所及行之會にては左の通り發電せり

平元鐵道の速成を祈り市民有志の御盡力を謝す

鎭南浦商業會議所會頭　川添種一郎
行之會長　西崎鶴太郎

各地の通信豫選競技
檜舞台への出場選手は誰か

木浦郵便局

【木浦】木浦郵便局にては本春五月第一回通信競技會を開催したるが其の成績の良好なるに鑑み第二回通信競技を三十日正午より同局に於て開催する由なるが今回は單に木浦のみに止まらず順天、光州其の他全南各地よりも選手參加すとの事なれば盛況を呈するならん尚當日は來賓に對し保阪局長の計畫に係る局內の簡易從事の試合を行ふべく同時に開催競技の際來賓に配付の菓子袋中に五萬圓貯金[illegible]三名に限り第一回貯金（三圓券）を封入配付し餘興を副ふべしと

釜山郵便局

【釜山】釜山郵便局にては來る三十日午前八時半より同局に於て十一月中旬京城遞信局に於て催さる可き全鮮通信大競技會の豫選競技會開催の由にて既に郵便、電話、電信の三部に分ち夫々競技課目なり大體の下競技を了へたる模樣なるが當日各部の優秀者を選拔し大會へ出場せしむ可き筈なりと

淸津郵便局

【淸津】十一月七日京城で開かるゝ管の全鮮通信競技に參加せしむべき選手選拔のため本月十六日を以て淸津分遞局に於て淸津、羅南、會寧の各局選手百餘名集合して豫選競技を各部に就て實施し、夫れ〳〵成績に從ひ審査採點中なりしが愈左の三選手を決選する事に決定せり▲淸津局電信部柳原四方吉▲同局郵便新田諒三郎▲同局電話部工藤英雄

商議決議案提出

【平壤】第四回鮮滿商業會議所聯合會に於て可決したる諸案の內要望すべき件は二十七日松井會頭の名を以て夫々關係當局へ提出したりと

居昌橋落成式

【晉州】慶南居昌郡の居昌橋渡橋式は二十九日午前十一時より盛大に擧行すべく同日は知事代理も臨場する由

釜山高女新方針

【釜山】釜山公立高等女學校では四學年の現在生徒數は七十二名なるが來春三月卒業後の方針に就し同校の調査する所に依れば左の如し　師範二部三、女子高師一、藥學校二、敎員養成所一、高女專攻科一、美術一、音樂一、女子醫學專門一、同志社一、家事手傳四十六、未定八（○釜山）

錦山普通校近況

【大田】全北錦山公立普通學校の就學兒童數は四百十八名にして九月中の出席步合は百分の九五、二一である

元山の新舊人（七）
會つた時の五分間　見た感じた儘

◆元山稅關長宮崎又治郎君　宮崎君は座談の上手な人で初對面の私はツイ調子に乘つて飛んだお邪魔をした、其の後一兩度訪れたが君の打解けた應接振には何時も一種の親しみを感ぜずには居られなかつた▲記者の質問に對して未だ來たばかりだから元山に對する意見は無い、何れ北へでも行つて土產話を拵へて來やうと笑つた、君は或問題に遭遇した場合先分吟味玩味した上で是を消化せねば止ぬと云つた風な極めて用意周到の人らしい元山に對しても無論意見を有つてゐるのだらうが云はぬが花で、云はず語らぬ所に君の謙讓にして造詣の深い事が肯かれる、兎に角君の如き角の取れた圓滿な人は稀らしいと思つた▲商議議員小田村廣助君は元山に古い歷史を有し幾多の事業を經營してゐる活動家である、君は何かと云へば寡言な方だが苦言即時少しも無駄が無い溫厚な中にも男らしい意氣がある▲君の氣性の一端とも見るべきは萬事が規則正しい事で事務室へ何時行つて見ても書類がキチンと整理が付いてゐることだ、君は何んな忙しい時でも事業に關する書類等は自身で處理するさうである▲私は數年前から君を知つてるが何遍會つても微笑を浮べた其の溫顏に若々しい活氣が漲つてゐるやうに思はれる、そして其の沈着いた態度は何時も變らない、思へば君の前途は徒多忙である（元山ス局記者）

中央鐵道開通式
蔚山で行はる盛んだつた祝賀會
夜に入つても素晴らしい賑ひ

【釜山】朝鮮中央鐵道會社慶東線蔚山釜山間の敷設工事も完成して去廿五日から營業開始をしたに付き蔚山本社にては日野學校組合管理者指揮の下に町民數日前より寄合し種々**準備協議**の結果當日は市日にも拘はらず全般休業し門毎に國旗や高張は軒頭に揭げられ而して各町を五區に別ち思ひ〳〵の扮裝山車仁輪加等の餘興を凝らした又祝賀會を新築停車場構內に紅白の幔幕を以て設へ、入口には大アーチを設へ交叉した國旗が[illegible]的に位置正しく揭げられ祭門は停車場を眺め如何にも開通の祝賀氣分があふれて居つた各町々は**角行燈や**日の丸高旗で裝飾が施され當日の見物人に郊外の朝鮮人が白衣姿しく裝裝して三々伍々に繰り込んで來る賓のブロックやモーニングの洋裝羽織の禮裝者で賑ふ午後一時五十分の著車を待ち佐藤財務の來賓あり午後三時煙花打揚の下に式場は開かれ來賓百數十名其他町民會員にて數百の人を以て滿たされ來賓席終るや祝賀會長金弘祚氏の**開會式辭**あり次いで中[illegible]蔚山郡守、篠東萊郡守、土方慶南道技師佐藤鐵道課務外二三の祝辭あつて當日の花形指揮官副長日野勝太郎氏起つて來賓に對する挨拶をなし開宴に移る內鮮美妓數十名酌間を斡旋しつゝある內に各町の餘興者が會場正面の餘興場に繰り込み盛大なる演舞仁輪加等あり場內の雜沓一通ではない其間絕へず煙花は打揚げられアイゴー〳〵の內に午後五時過ぎ**隨意解散**して午後六時より日野府太郎及工事請負者出張員朝吉民の發起により主なる來賓三十餘名を料理屋に招待し盛大なる晚餐會を催したるが午後九時散會した尚夜間には提燈や餘興の練り廻りとて深夜に至る迄賑々しく蔚山開闢以來未曾有の事であつた

ブ印ウヰスキー

米穀檢查鑑定會

【釜山】慶南道管內米穀大豆檢查員の檢查鑑定講習會は二十六日より向ふ三日間釜山府廳樓上に於て開會管內地方檢查出張所よりの出席者十八名にして總督府よりは石塚農務課技師、慶尙南道よりは佐々木知事を始め高橋農務課長宮川[illegible]技手等出席佐々木知事は米穀改良上に於ける檢查の嚴正と敏速の肝要なる所以の訓示を與へた

寶女音樂奏會

【釜山】私立釜山實習女學校にては來る廿九、卅兩日午後五時より宮本町釜山座に於て第十一回音樂演奏會開催の筈因曲目は琴、琵琶、ピアノの合唱、活人畫其他にて同校維持費として入場料一圓學生に限り五十錢を徵する由

銀行會社
株主配當四割

【大連】大連五品定期大連株式商品取引所下半期定時總會は二十四日午后三時からヤマトホテルに開會本期成績に就き各株主の承認を求め異議なく株主配當四割と決定して散會した

プッシゴ

【平壤】目下懸案となつてる平壤高等商業學校問題は屢々總督府に向つて建設方を交涉したが今日の國庫の財政を支出して迄て、見れる事は望みがないらしい▲仄聞する處では大邱府は其隊費の大部分を府民が負擔して建設方を迫つてるそうだ▲平壤府民も徒らに政府のみに倚らず府民で以て建設する位の覺悟をしてゐなければ却々實現は望まれぬ

仁川武道大會

期日　劍道部　十月三十日　柔道部　弓術部　十月三十一日
會場　仁川武德館にて午前十時開始
申込　體育協會武道部宛のこと

主催　仁川體育協會

期日　十月三十日午前十一時出發
場所　江華島
申込　體育協會武道部宛のこと『便宜仲町共榮社へ』

仁川狩獵大會

【仁川】仁川體育協會銃獵部は來る三十、三十一日兩日を期し豫定狩獵大會を江華島に催す事となつた、待ちに待たる、此日、好獵家の腕が如何に試みらるゝか愛犬は狂ふ計りに躍り銃は磨きに研がれた三十日午前十一時には秘藏の橫に勢揃ひして滿ち來る潮に押され乍ら江華島に渡る滿上三時間は地理を案じて何時の間にか過ぎ午後三時上陸と同時に己が得意の方面に狩り立て、同夜獵地に假寢の夢を結ぶ間もなく拂曉を待つて猛烈な突擊を開始するのである斯くて午後四時獵獲を引揚げ夕陽を浴びて凱旋仁川歸着の豫定となつて居るが今年は殊に雉子の群生するもの多く、江華一島の山々には至る所獵地ならぬはなく或は獵あり鴨あり猪あり、[illegible]で定めて獲物の山を築いて歸る事だらう、と期待されて居る天狗連の腕の冴が果して如何の程度迄に發揮さるゝか參加希望者は便宜仲町共榮社內にある體育協會狩獵部に申込まれたし但し會員に非ざる者に對しては當日費用の一部に充當する爲め一人二圓の出費を要求する、賞品は一等以下十等迄協會の金牌其他別賞品多數揃つて居ると定めて盛況を見るだらう

浮草（92）
入江新八 作　中田早苗 畫

雲かくれ（六）

大塚といふやうなところへ來たのは道代は初めてだつた。餘り外出をしないので、まだ東京の市街線の模樣などに道代は詳しくはなかつたが、東京の地圖を買つて、毎日それを隅から隅まで暗誦するやうに見覺ねて置いたので、東京の地理の概念が彼女の頭に摑まれてゐた。大凡その本郷切通しからの距離も想像されたが、實際は、もう少し近く思つた。いくら行つても停留場があつて中々行きつかなかつたのだらう、本統に廣いと今更東京といふところは何處まで廣いのだらう、本統に廣いと今更驚かれた。

『大塚××町××番地…！』

道代は宮崎の住所を記憶してゐた。決して一度聞いて忘れない、その人の住所は、いづれ必ず自分の方から訪ねて行く時があるだらうと思つてゐたが、斯んなに早く宮崎さんのところへ行くやうにならうとは…………と道代は思つて心が沈かれた。人の身の上は、何時どうなるものやら、一生涯秋子先生の家を自分の家として……あの先生を師とも姉とも戀人とも思つて、一生涯此身を託しやうと思つたことも、もう今日になつては夢のやうなことになつてしまつた。

『全く、人の身の上のことは分らない……あんなに親切にして下すつた先生に背いて、私はまた元のあの人のところへ歸るのか……』

道代は餘りに變轉の速い自分の境涯に驚かぬわけには行かなかつた。

電車が大塚に著いたので、其處で降りた。山の手からなら山の手で大塚で降りると、斯々と宮崎から聞いて置いた箇所に、丁度旨く市街線の道順が出て來たので、敎へられた通りを步いて行つた。すると、決してそれらしい家が、家と家との間になつた細い露路があつた。其處は實に醜く見すぼらしい裏長屋の續いたところで、その裏長屋の一番奧のはづれの格子先まで行つた。紙片に宮崎と書いて格子戶の上の鴨居に張つてあるのを道代は見た。

『アゝ、此の家だ……』と思つて立ちとまつた。暫らく其所に立つて、家內の容子を窺つてゐた道代は、此所迄來ると、何んだか急に此の家へ這入ることが嫌になつたやうな氣がして來た。

『斯んなひどい家に私はあの人と一緒に此から暮すのか知ら…』

さう思ふと、何んの希望も無いやうな氣がして來た。じめ〳〵としめつた薄暗い孔の中のやうな斯んな家……それにあの人は、今、困つてゐるところへ私が來て、一層あの人は困るだらう……。私は矢張り河村さんの方へ行つた方がよかつたかも知れない。あの明るい華やかな生活……と思つて、茫然として佇んでゐた。すると、內の中で何か物音がして、人が出て來る氣配がした。道代はハッと思つたが今更逃げ出すことも出來ないので其所に立つた儘でゐた。すると、宮崎が手に書物を持つたなりで出て來た、格子越に此方を見た。

『やあ……』と云つて、非常に驚いた顏をして、飛び出して來た。格子戶を開けると

『やあ、よく來て下すつたね、さあ、お這入りなさい』

落魄した宮崎の顏は眞赤になつてゐた。道代は、何も云はずに、ほゝ笑んでゐた。彼女は別段何物にも感激してはゐないやうな落ち附いた顏をしてゐた。挨拶もせず、言葉も無く、たゞにこりとしたばかりだつた。

『さあ、どうぞ、よく來て下すつたね。よく道が分りましたね』

『直分つてよ』

『さう、それはよかつた。今日は少しゆつくりしていらしやい。何か御馳走しやうね。何が好い……何にしやう……』

などと、宮崎は少しうろたへ氣味で、わく〳〵してゐた。

川柳　劍花坊選
靑い顏

○笑江　紅翠　大雷雨の中なる靑い顏
○京城　水蔭　當鋪の術がちがうて靑い顏
○京義線士　琴坊　靑い額べつこの上へ月がさし
○京城本町　沈澱子　三面を見る局長の靑い顏
○〃　淺梅　靑い顏ぼんやり赤い鐙を提げ
○〃　竹　溫泉に一つづゝ浮く靑い顏
○淸道　不知坊　海岸でハンケチを當つ靑い顏
○金北五山里　歌犬坊　パラソルの色が映つて靑い顏

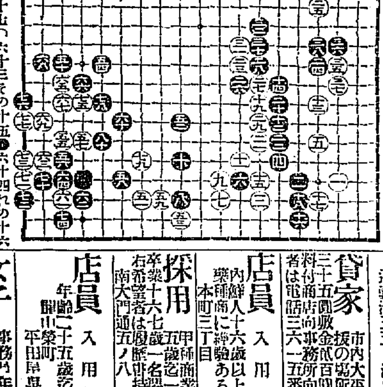
評、作句でもないが、自然の情景が浮いてゐる、

小說をよく書く男靑い顏
机から離れぬ男靑い顏
するだけの失敗をした靑い顏
縛られて裏町を行く靑い顏
靑い顏胸の痛手を押さへてる

評、すこし達者過ぎる、今少し考へなければいけない。

新局碁戰（四）
三三二子　段　京城　坪川氏　平山　政邱氏

○六十一れの十七●六十二たの十七○六十三その十五●六十四れの十六○六十五れの十一●六十六たの十一○六十七れの十二●六十八その十七○六十九その十三●七十その十六○七十一つの十二●七十二つの十七○七十三つの十五●七十四れの十八○七十五たの十八○七十六つの十二●七十七つの十三●七十八よの十二○七十九わの十五●八十よの十四



京日案內

讓店　本町三丁目拔ノ場所　雜作附キ居拔ノ儘（商品ナシ）安價ニ讓ル御希望ノ方ハ至急御照會乞フ　電話二二六六番

女中　二名入用（內一名[illegible]）　京城永樂町二丁目　西村商會　電話三〇三〇番

貸家を求む　四間見當の家至急借りたし旭町南山町附近にて　古市町十九番地　大西　電話三一五番

優遇　外交社員招聘　男女年齡不問　副業可　月收百圓以上　履歷書持參　午後五時來談　遠路ハ履歷書送れ　京城明治町二ノ一三　日本勸業

金融　貸　其他月收ノ方ニ信用貸　電話飛保多額低利　京城本町四ノ一四〇　電話二五一八　大和屋商店

毛皮　なめし　各種毛皮豚毛牛油類買入製造並　京城西小門內七八　紀州商會（電略モリ）

古本　一買入　東京堂書店　京城本町二丁目　電話三四二八番

古本　●無比高價買入　●是非御試賣を乞ふ　御報次第早刻參上可仕候　電話參番九五番　城本町貳丁目　●群書堂●書店●京●

ほね　つぎ　うちみ　くじき　治療所　京城旭町二丁目廿八　荒川仁壽堂　電取次貳六八　元町ヤソ教前に開業

ほね　つぎ　くじき　京城明治町柔術道場　一切の病傷御依賴に應ず

採用　數名　メッセンジャボーイ十四五歲にして身體強健なるもの　履歷書持參來店あれ　南大門通　丁子屋

女子　帳簿係採用　女學校卒業廿二三歲迄　履歷書持參來談あれ　南大門通　丁子屋

採用　巡視一名　身體強健親切にして溫情ある人　履歷書持參來店あれ　南大門通　丁子屋

寫眞　技師入用　修整ニ熟達セル者二名　燒付ニ熟達セル者二名　大邱府上町　竹內獨立軒

女中　入用　御希望の方は左に御來談あれ　京城旭町一丁目　電話二七一一番　山岸天佑堂

讓受たし　小資本にて出來る店舖　菓子店煙草店藥店等小商店を望む希望者は本町四ノ一外田原太郎方へ

獵銃　英國製拾貳番有鷄二連銃附屬品一式　價格安讓る　通義洞三五　江口貞太郎

貸家　市內大平通二丁目拔の場所に貸家す　三十五圓敷金貳百圓　小額の雜作料付商店向事務所向に適す希望者は電話六一五番へ照會あれ

店員　入用　內鮮人十六歲以上二十歲以下　藥種商に經驗ある者　本町三丁目　山崎藥房

採用　甲種商業卒程度　小學卒業十七八歲迄一名　高等小學卒業十六七歲迄一名　右希望者は履歷書持參本人來談　南大門通五ノ八　木村商會

店員　入用　年齡二十五歲迄　龍山榮町　平田屋呉服京染店

女子　事務員　年齡十六歲以上　上小學校卒業の者　右優遇す希望者は履歷書持參至急來談あれ　朝鮮商業通信社仁川本町三丁目取引所前　仁川支局

地方人事

▲伊吹震氏（羅北理事）東上中の處二十九日午前十時帆のばいから丸にて相州小田原に向け出發す（大連）
▲英國[illegible]平壤稅關長、同上發龍山
▲浦俊次氏（平壤府尹）赤十字打合せの爲め二十七日正午發列車にて出發上城三十日歸任の筈（平壤）
▲平井三男氏（平南道內務部長）內
▲平林文雄氏（關東廳土木課派出所事務官）旅順へ出張中の處二十四日歸連（大連）
▲前田憲兵司令官[illegible]十九日來淸直に會寧に向ふ順次國境を視察すべし（淸津）
▲安武千代吉（釜山辯護士）二十七日夜ノ高麗丸にて歸釜

麻浦に鮮人女の死體

六十歳位の鮮人女の死體を通行人が發見し麻浦[illegible]

飛さる

[illegible]

本紙五千號記念の爲め讀者への奉仕

新式活字採用

我が社は最近社運の進展に伴ひ紙面頗る狹隘を告げ記事並に廣告輻輳し依然たる舊態を以て讀者に見ゆるは決して時代の進運に副ふ所以に非ざるを信じ茲に新活字を採用して以て紙面の整理を行はんとす即ち明春一月一日を期し現在の舊五號活字に代ゆるに新型細肉七ポイント半活字を使用するの結果現在の紙面に比し實に新に一頁三段餘の收容力を增加するものにして新活字の八頁は現活字の十頁三段に當り爲めに記事廣告共に內容の充實期して待つ可く加ふるに新活字は斯道專門家の周到なる研究の結果最も進步したる型式として好評嘖々たるものなるを以て紙上の光彩又自ら燦然たるものある可し而して是また我社が五千號紀念事業の一として讀者に奉仕する恰好の企圖たるを信ず

日曜附錄發行

我社は紙齡五千を重ねたるを機とし、益國家及社會に負ふ使命の重大なるに鑑み鋭意陣容の整備內容の充實に努力すると共に讀者の深甚なる愛顧と期待とに辜負せざる可く諸般の計畫を進めつゝあり而して今其の第一著手として『日曜附錄』を發行し本紙に添付し記事に寫眞に淸新なる趣味と智識とを讀者の前に提供す

懸賞小說募集

新興朝鮮に漲れたる生々の氣運、前古未だ曾て此の土に見られざる社會的變化、政治生活經濟生活の改造、泯び行く精神と興り來る精神との交涉葛藤、それに伴ふ個人、家庭、社會の喜劇悲劇は正に文明史家、抒情詩人、敍事詩人の大に歌ひ大に傳ふ可き題材ではありませぬか、我社は五千號紀念事業の一として茲に左の規定により廣く滿天下の士人の才筆を煩はして朝鮮を題材とした若くは朝鮮を背景とした小說を募集します、朝鮮の改造といふ國民的大文化運動の裡に編み込まれて如何に新しき生命がはぐくまれて行くか印度を謳つたキップリングの大作にも優る大藝術品を得て此意義ある提唱の效果を光あらしめたいと望みます

一、題材　朝鮮の現代を描寫したるもの（但し內地、滿洲、西伯利、支那等に亘るも妨げず）
一、文體　口語體
一、回數　一回十六字詰百行內外、百五十回乃至二百回

賞金　一等　金千圓
　　　二等　金五百圓

一、審査　東都文壇の大家に囑託す審査員は追つて發表の事
一、締切　大正十一年二月二十八日

ポスター懸賞募集

歐洲大戰爭の齎した興味ある事實の一はポスターの隔世的の發達であります。戰爭中英、米、佛、獨、露諸國に於て、政府の宣言、團體の新行動等苟くも國家生活、社會生活の重大事件にして廣く民衆の理解に俟つべき事柄は殆ど悉くポスターを通じて周知し宣傳されたのであります茲に於て有名なる畫伯、諧才ある英俊の士は競うてカンヴスに對し競うて彩筆を揮り此の意義ある戰時の國民運動の闘士となつたのであります。米國に於ける禁酒運動、獨逸に於ける麵麭制限令公布、佛、英に於ける軍事公債勸誘等の大運動に伴ふポスターの盛なる宣傳は如何に其國民の血を湧かせたことでせう。今やポスターは新しき運動新しき精神の宣傳の方法として缺く可からざるものとなつたのであります。我社はその使命に鑑み、朝鮮の現狀を廣く我が同胞に知らしむる爲に、まだ我が同胞が朝鮮を理解し朝鮮の改善に力を藉すことを求むるために左の規定により天下の英俊に向つて、その諧才を傾倒せられんことを望みます。吾人の國民的使命として指摘しつゝある朝鮮文化向上の大事業に多少なりとも此の企が貢獻するところがあれば、我社の望外の光榮とするところであります。而して五千號の紀念事業の一として之を企てた我社の志しも酬いらるゝわけであります。

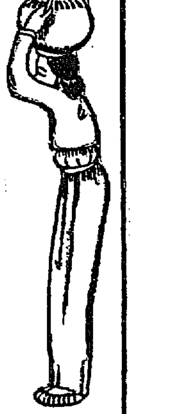
精神　畫面に現される精神は次の如きものでありたいと思ひます。（卽ち「併合前と今日に於ける文化の異常なる相違」「平和の中に協調して內鮮人相互の幸福を增進すべき事」「朝鮮產業の發達の爲に內地の資本家は競うて投資すべき事其他朝鮮の平和發達生活の改善に資すべき事項」）

材料　カンヴス、畫紙にて大きさは縱三尺乃至六尺橫二尺乃至四尺位油畫、水彩、墨畫、ペン畫その他（畫風を制限せず）

一、締切　大正十年十二月三十一日
一、審査　東京及朝鮮在住の美術家に囑託す審査員は追つて發表の事

賞金　一等　金二百圓
　　　二等　金百五十圓
　　　三等　金百圓
　　　選外佳作七名　記念品贈呈

發表方法　明春三月を以て東京に開催せらるゝ平和博覽會場に陳列の後各府縣主要地に頒布す



伊藤燁子の踏んだ道

落着きのない近代婦人思潮の一面

今少しく愼重な態度は採れないか

京管局 伊藤秘書夫人談

廿世紀は性の世紀であるとかいはれてゐます樣に實に近來此種の問題の頻出します事には驚かされます、社會に知られないものに至つては無數でしようが差し寄り

社會の問題 となりましたものでも先には濱田榮子の事件其の後は原あさを、近く白蓮女史の事など、それに之等が殆ど同じ樣に文學の上から、はいつたものばかりで、之等を通じましても實に近代の思潮の動きは充分に窺ねます、私共に事柄の批評的觀察など何の價値もない事でありますが、いかにも具體的にあらはされた事實については、甚だ面白からぬ所謂、

俗世間的な 戀愛に陷りた事で、決して褒めた問題でなく寧ろ大いに批難すべき事は分りきつてゐます。而し歌の方面から白蓮夫人を見ますとあれほどの多感多情な、そうして又よく理性にも勝れてゐた人だけに、あの歌には隨分と深刻な人生觀も描き出され又その中には相當な信仰もあつた樣で、實に普通の女の窺ひしれぬ

深い道を辿 つてゐられた事で兎角に感情的でありますす私なぞは大分同情も注ぎましたもので、何かあり相にはこんな思へない事もありませんでしたが、まさか斯うした、醜惡な形によつてくるとは、一寸人の心もわからないものです、之によりましても沁々思はせられますのは戀愛の力がいかにも

強甚な偉力 を有するものであるか又人をいかに盲目的ならしめるかも推し測られますが實に之まで淸く歌に生きてきた燁子さんの上、今少し自重した態度の取れなかつたはたゞ/\惜みても限りありません

女學生のお女中

すべて眞劍で成蹟も行狀も異つた所がある 近頃美しい人情話

兎角女中問題の云爲せらるゝ時茲に一つの美はしい表彰するに足る事實がある、それは目下西小門技藝學校別科二學年に通學中の玉岡せつ子さん（一七）であるせつ子さんは女學生ではあるが俗にいふ

主家に奉公 の身で、十五の年から東拓社員、山口正賢氏方へ雇はれ、今尚同家唯一の働き手として同家の夫婦に子供といふ三人家族の衣類の事、掃除萬端をこり重寶がられてゐるが天性器用なで、知識慾は次から次とめばねて、中でも裁縫手藝の技をより一層向上せしめたい希望頻りなるより同家靜子夫人（櫻陰會員で、元市內女學校にも教鞭をとつた人）の殊に一際立つた理解心は此の殊勝な

晝間多少の 不便がないでもないせつ子さんの思ひ立ちを喜んで事もないが何も妹の樣な氣心で使つてゐるせつ子さんの爲めと此の九月の二學期から技藝學校に通はせる事になつた、そこでせつ子さんは家用の一つ/\に自ら工夫しては時間其の他の經濟をはかる爲、却つて仕事の能率は顯れ、朝も食事は無論赤ちやんの襁褓までも洗濯して定刻には海老茶袴をつけて登校するといふ工合で此の殊勝な乙女の姿は、いつもよく光化門通手の社宅附近から本社橫手、學校附近にて見受けらるゝ

學校の成績 其他を受持の北村教師にきくと流石に切ない重い思ひを抱いて入學した生徒だけに習ひぶりすべてが眞劍で成績行狀共に模範的であると、而して隨意科として生花も習ひ、是非本人は補習科までは修業すると理想されてゐる、そうして可愛い事には家庭でよく奧樣に仕へてゐる事とて折ふし學校の先生へも奧樣呼ばはりをしては流石乙女きまり惡そうであると兎も角一面には人情の薄れ行く今日召使ふ人も又使はるゝ人も一の美談であらう

家賃七割の値上

本町二丁目拔の場所で釣り上げた 借家人側に協議

中村再藏氏と共に京城內地人に並び稱され先年南山散步中無慘の變死を遂げた本町一丁目藤井友吉未亡人サキ（四三）とて當時王人の死因に就ても兎角の世評があつたことは

府民の記憶 に新なる所である、平田雜貨店が擴張の際など荒物部に充て、居た處は其藤井の持家で有つて、家屋擴張の折柄幾多の間口を獨占するは社會政策上面白からずてふ理由の下に明け渡させ、直に入札で賃貸り上げ一ヶ月百六十圓敷金六百圓と云ふ無類の賃金で貸付けたと云ふ辛辣なる

魔手の持主 なるが數年前より物價騰貴を口實に持家の値上を行ひ角なる同じく一丁目の繼山崎唐物店や塚崎シャツ店[illegible]家賃百圓なのに比し全く同[illegible]にある黑川牛肉店は百六十圓で[illegible]ある程に押し上げ昨秋[illegible]たに値上は仕ないのであるなど甘言でだまし込み約四五割の

値上を斷行 し更に十一月からその一角十二軒に對して東店で二割五步から表通り最高七割の値上げと敷金を之に準じて增徵すべく通知を發したことの通知も團結を依れて數日置きに巧妙で、借家人も其橫暴無禮には憤慨して居るもの、最後の明け渡し請求を恐れて誰有つて表立つて一同の意見を纏め對抗しやうと云ふ者もないが十餘年の

經營努力の 賜で兎も角ち得た得意・生活の脅威に瀕きれ昨今より/\協議中なりと明治町や吉野町には僅二割の値上に對しても借家人一統共力して[illegible]に[illegible]を爭はんとい[illegible]て居る[illegible]借家人も[illegible]して何う[illegible]落付くべきか[illegible]者を取締る特別法の必要ありと云ふ者もある

コダツク會 印畫品評會 二十九日京城俱樂部で

京城コダツク會にては毎度野外撮影會などを催して趣味の宣傳技術の向上に努めて居るが二十九日午後六時より本社裏京城俱樂部にて[illegible]及原板の[illegible]會を開催[illegible]原板に付いては伊藤秋畝氏が審査批評をなす由

東大門署改築落成式

改築中であつた東大門警察署は落成したので武道場開始式と共に來る廿九日正午より落成式と同時に擧行の由で各方面に對し案內狀を發した

天道教第四回青年會

天道教にては廿七日より慶洞の中央總部に於て第四回青年會を開始き廿八日は午前十一時より同教第一祖崔濟愚の誕生紀念會を催したるが各道教區長、青年會主會者及び篤信家等約六百名參列せしも無事終了せり

第十三回婦人見學團

＝お申込みの方々へ＝

第十三回本社婦人見學團は豫告の通り二十八日に一應締切りました本社から差上げた會員の方は來る三十日日曜日午前正十時までに必ず動物園前にお集り下さい萬一お申込みになつて本社から通知を受領されぬ方は矢つ張り當日お出で下さい動物園前で會員章を差上げます萬々一降雨の場合には次週日曜日まで延期致します

浪花節の素義を聽く

二日目か覗いた時は南史の先代萩の御殿場が濟んだ所[illegible]

改良腰卷 キンコウネル

しめなみを

洗つてはげぬ……

二尺三寸巾の綿ネル

裾縫ひもしてある

便利で調法 赤と時と白

御注文に應じどちら樣でもすぐ御屆け致します

販賣店 京城本町 ㊂まる三吳服店 電話一五七番

名刺 京城本町四丁目 加藤商店印刷部 振替京城八六番

羅紗マント

僅かに二四圓で買へる二重トンビ九圓 モジリ外套七圓

東京牛込區橫寺町八千代商會委託販賣部にては今春季節過ぎ金融の爲持越し困難の品を某商會より一手に引受け防寒兩毛羅紗マント曲尺二尺五寸三圓五十錢三尺四圓三尺三寸四圓五十錢三尺五寸五圓三尺七寸五圓五十錢四尺六圓二重トンビ三尺七寸より四尺四寸迄九圓均一モヂリ外套三尺七寸より四尺二寸迄七圓均一と云ふ空前の安價なれば本年初冬の掘出し物なりと賣行飛ぶ如く寸法と品名を記入しハガキで代金引換へ小包みにて送品方を請求し來る顧客引きも切らざる由（東京通信）

りん病藥無代進呈

[illegible]山に[illegible]る不思議によく效く實驗藥を汎く宣傳の爲め三錢切手送る丿に無代進呈す 愛知縣東春日井郡鳥居松村[illegible]善酒造店

毛布の處分賣

三菱倉庫滯貨處分

破天荒の安賣は總數三萬枚限り跡なし 賣切れ中止す

大判二枚續き	鼠毛布	特製 三圓五十錢 / 甲製 二圓
大判二枚續き	茶毛布	特製 三圓 / 甲製 四圓
大判二枚續き	白毛布	特製 四圓八十錢 / 甲製 七圓
大判二枚續き	ダラク毛布	特製 六圓五十錢 / 甲製 九圓五十錢
大判二枚續き	赤毛布	特製 四圓五十錢 / 甲製 五圓五十錢
		特製 一圓九十錢 / 甲製 二圓

輸出毛布殘品大判一枚物以上何れも優良商品にして新新なる意匠を施し特に原毛を精選したる逸品也皆ては三五圓以上二三十圓內外の間に於て盛に取引行はれし上等品而已也用途は旅行用寢具用防寒用敷布代用等に用ひて一日もなくてならぬ家庭日用品也此處分品にして掘出しものを掘當てた丈の滿足の出來ぬ人には直に返金す

東京市日本橋區 毛織物問屋 本石町一丁目十 關谷商店 長電本局三三三四 振替東京四四〇三

內科 小兒科 外科 花柳病 仁川宮町 松本醫院 ×光線科 電氣科 電話三四五番

朝鮮總督府巡查募集

左記日割ニ依リ採用試驗ヲ行フ志願者ハ願書履歷書寫眞携帶午前八時マデニ出頭セラルベシ

毎月第三土曜日

○初任月收約 七十四圓以上

京城警察官講習所

ウオルサム時計

絕對他店の追從し得ざる破格の特價は亦々評判高かるべく御注文殺到すべし

壹千個限り

到着

十八金片側12サイズ ☆印最上等側入 ウオルサム七寶石入

特價 四拾八圓 送料卅五錢

京城本町二 村木時計店 電話長四七一番 振替京城三一九〇番

OXYFULL

純良過酸化水素液 オキシフル

オキシフルは純良なる過酸化水素液にして使用上安全無害なる消毒、制臭、漂白劑なり、醫藥として汎用せられ又化粧料として齒牙を美白ならしめ口臭を去る等に推奬せらる。（詳細なる說明書あり進呈す。）

▼壹瓶四オンス入、壹磅入の二種あり。各地有名藥舖にて販賣す。工業用品は別に御相談に應ず。

東京日本橋區室町三丁目 三共株式會社 出張所 大阪道修町・臺北府後街

DI.X.1

此の一杯が

實に甘露

吾人活動の源泉は只正にこれあるのみ矣

安香藥學博士 森本醫學博士 推奬

何首烏と人蔘を配合したる

カシウポートワイン

大阪天滿 和田常商店洋酒部

府廳へ引渡

電車に跳ね

二十七日午後零時三十分頃麻浦…附近江岸…年齢…路四丁目大…附近進行中前面より來りし荷車を避けんとして電車軌道内に踏み込み折柄進行…

鮮人領事館巡査襲撃

…事務取扱…巡査小川某及六名の鮮人巡査は同地方鮮人のため襲撃…

運動界

少年野球大會

…熊谷正…村…西大門…ロンゲームとなり…拔兵んど四伸し七回迄二對二に…

釜山野球團福岡に遠征

【釜山】釜山運動協會では…隊を引具して…出發十一月一日朝…の連絡船で出發…に決定したが遠征軍のメムバーは左の如くである

…に於て菊花品評會及他の…會を催す由なるが同日は滿會と共に社友會場は頗る殷賑を呈すべしと

◇仁取事件公判　向つて右から前列奥田、飯田、荒木、後列淺、伴

退學を停學の

居中調停案

セブランス醫專の盟休解決事件の其後

六年生の罷業に關し其處分法に付て教師間に意見の相違を來し種々善後策攻究中なりしセブランス病院にては盟休生徒の退學處分を止め停學處分として生徒の改過を俟ち處分を中止するの折衷案を按出し愈〻何時の睨み合の姿となりたり

代々木練兵場で

觀兵式豫習

二十八日午前十時より

【東京電話】來る三十一日の天長節に大元帥陛下御名代として皇太子殿下行啓の下に觀兵式を行はせらるゝに就き二十八日午前十時より代々木練兵場に於て諸兵指揮官大井大將指揮の下に參加豫習を行ひたり

…比し必ずしも良好とは申されませんが毎に收穫が増加し本年も良好な成績を擧げて居ります、一時暴動した不逞鮮人も勢力全く失墜し、是が爲め良民も生活の安定を得たやうです、私は實は二十六日夜京城に歸し一泊の上總督軍司令官にも敬意を表する豫定でしたが途中事故の爲豫定より一日遲れた爲め殘念ながらお目にかゝらず歸る積りです、元山から清津へ便船を借り會寧から上三峰を經て間島に歸る豫定ですが、もう間島地方は氷も張り雪もちら〳〵降れたでせう」と陶道尹は東籬に菊を植ゑ酒を愛した詩人陶淵明五十一代の遠孫である

航空隊の東京市夜間襲撃演習

襲撃隊の編成成る

【東京電話】今秋の陸軍特別大演習に參加し東京の上空より夜間襲撃を試むべき襲撃隊は所澤航空學校にて編成し西尾、近藤兩中尉、藤羽曹長加藤、中野、宮所、…の各軍曹配屬せられ森田好見の兩大尉統督の下に廿七日より偵察機コード（ローン式大型八十馬力發動機二個を有す）にて演習を開始せるが來月五六日頃より夜間襲撃演習に移る筈なり

パルチザンの

毒手に斃れた

拓稜鐵道沿線にて

清水太四外二名の白骨

【長春電報】最近東支東部線拓稜驛西南方三キロメートルの山林中に日本兵三名の屍埋没しありとの支那人より報告に依り同鐵道守備隊より井上中尉部下を率ゐ同地に急行し各所を調査せるに果して某地口内に多數の遺骨あるを發見せるより右遺骨を調査せるに既に勤務中行方不明となりたる清水太四外二名なること兵士の認識票其他に依りて判明せるより大に驚き尚無數の白骨あるを發見したり今日迄多數の行方不明の將卒には非ずやと思ふ點多々あるより三本部に急報せるより田中軍醫出張鑑定を爲せり右加害者はパルチザン一派ならべく衣服其他のものに目もかけぬらしく唯武器のみは何れもなし而して該土中の上に土砂を蔽ひ外部より容易に判明せざるものなるが横道河子民會長布谷氏方の支那人聞知し來りて布谷氏に告げたるより同氏より守備隊に急報せるより同隊より將卒を派遣して漸く發見したるものなりと

天長節に

菊の會

社友會園藝部で品評會

龍山京管社友會園藝部にては來る三十、三十一兩日…會場…その…

總督西大門へ

倶樂部から小學校へ

二十八日午前八時四十分齋藤總督は守屋秘書官松村學務課長を隨へ西大門倶樂部を視察したる後西大門小學校に臨み宛ら朝會中であつた同校を離しから一場の訓示を爲し九時卅分歸廳した

その歸り途に

不良少年收容所

富士洞然師の説明聽取

二十八日午前九時半齋藤總督は守屋秘書官を隨へて自動車を龍山瑞龍寺に驅つて新築中の本堂に充つべき堀本堂を富士洞然師の説明にて親しく視察して國士寮に武田師其他名士の案に詣て基礎工事及び不良少年收容所に午前十一時頃歸邸したりと

噂程物騷でもない

馬賊跳梁の高粱繁忙の時期も過ぎて……

支那討伐隊も緊張

延吉道尹　陶彬氏語る

久しく吉林奉天地方に出張中であつた延吉道尹陶彬氏は夫人及び從者同伴廿七日夜入城二十八日朝十時發元山經由間島に向け歸任したが

平壤より　同車した記者に對しオレンヂ色紋緞子の長衣の襟を掻き合せながら流暢な日本語で語る『昨年は恰も頭春事變當時で忙しきに紛れ兎角失禮勝ちでしたお蔭で相變らず其日を暮してゐます、先頃來日本新聞紙上に頭春地方が物情騷然として再び馬賊來襲の兆ありなどと云ふ情報に接しました

噂程大き　なことは無く、この記事が出て居りましたが、今では全く鎮靜に歸して居ります殊に馬賊が所謂跳梁を恣にする高粱繁忙の時機も過ぎ一般に收穫されましたから、彼等が行動は茲に阻害されたも同樣ですし又吉林から派遣の討伐隊も緊張して居りますから今では手も足も出ますまい彼等の根據地として知られて居る

老黑山に　も片影を認めず…又間島地方本年の米作は昨年に

我社の朝鮮ポスター募集と名士

歐洲戰爭の國民宣傳の必要から發達したポスター

歐洲では人の集る場所にポスターを見ぬ所はない

朝鮮銀行　水間總務課長談

ポスターが世の中に瀰漫したのは果して何時頃であつたか記憶にないが、所謂プロパガンダを有效ならしむる爲めの一手段として行はれたものであることは誰しも疑はない所であらうそれが

歐洲戰爭　に際して英國ノースクリップ卿其他の人々により日々起り來る非常事項を至急に國民に宣傳する必要から最も有效なものにして用ゐられた結果遂に今日の如く流行を極めるに至つたものである、現に私も戰爭の當時英米諸國を歴訪して、ポスターの偉力に驚異を感じ多大なる興味を引かれた一人であつた、停車場其他人々の多數集る所には殆どポスターを見ぬ所はなく然も描かれたる文字の如きも決して公衆の感情を害するやうな強壓的のものは一句も見られない

ここ迄も　穩かで人懷しく一見忘れ難い印象を與へるものであつたポスターは所謂公共團體又は官衙の用ゐるものであるから若し職務に過ぎる文字を使用したら却て公衆の反感を買はねばならぬ、從つて此等の點などにも充分に意圖を用ふべきであるがポスターが効力を生ずるには少くとも之を用ふる所の官衙の文字は公僕の書いたものであると云ふ意が一般に徹底されなくてはならない……

民意を代表したものであると云ふ證せば總督の命令によつてなされるプロパガンダであると云ふ事が民衆に諒解されねばならぬのである、だからポスターに

官民差別　を設けるやうな文字を用ゐるなら始めつから用ゐない方がましである、殊近京城府でも納税の義務を解くにポスターを用ゐるやうになつたのは文化政治の大なる進歩として稱讚措かぬ次第であるが更に一層此方法によつて官民の融和を圖る事、ポスターの語源を調べて見ると紙に大きな文字を書いて之を壁などに張りつけるそして何人にも讀み易くすると云ふ意味でポスターからポスターに化したものであるらしい。

撤去を命ぜられた

本町の聯合鐵傘

期限は十一月限り

本町署こ京畿道へ陳情

本町二丁目の聯合日覆は何萬人こその下を行く人に限りなき好感を與へて居る

聯合天幕は　六月頃に企畫された物であつたが當初材料の不足な爲に阻み大阪に注文したが、その取扱へに意外な時日を要したが愈〻八月中旬に出來上されるこ小河原鐵工場に其作業その上を急いで約二ヶ月餘の日月を要して十月下旬漸く落成したのであつたが然し此許可の當初に京畿道保安課にては十月限りに撤去すべきものとされて有つたので

折角に出來　上つた此聯合日覆は使用幾何も無くして十月限り除かれねばならなくなつたその理由は『鐵網を嫌ふが如きは不愉快を行人に抱かせる』こいふのだが夏日の効も思はぬ偏狹な顧慮である現在屋根破壞の本町通は各商店の日覆は往來上に突き出されてその最も標榜都市にまた通行の人々はその

軒下の日影　を拾ふ爲に雜路にまた泥濘を加へてゐる、に徴しても聯合日覆は交通整理上、市街美觀上當局は邇勵すべきもので將來は本町二丁目の此既設日覆を中心に東西に延長せらるべきものである冬來れば除り去り春の來れば取付けるこいふ事は不經濟な家屋の觀察する市街にては容易ならぬ仕事で

費用も莫大　なる物であるとは本町署小河原鐵工主は『あの鐵傘はあ永久的なこ稱しても過言ではありません、私も俄に讓せないと苦情を重ねましたものですが公…』

巨魁

金佐鎮

密山縣に隱れて畫策

不逞鮮人の巨魁金佐鎮は行方不明こ云ひ傳へられ居たが最近鮮人の間に傳はりたる情報によれば彼れは依然健在し支那官憲の擁護の下に興凱湖北方なる密山縣に潜伏して冬季の結氷を待ち居りて北方の部落に潜んで氣脈を通じ居る趣きにて昨年の討伐にて安圖縣内に逃避せる一味のものも漸次に鏡子溝に移動しつゝあり且つ小銃彈藥等も頻りに集めて居るこの事である

◇猛練習を續けてゐる自轉車競爭選手

列車の遺失品には

卒業證書もある

帽子洋杖扱ては貫重な時計指環に越中褌

朝鮮鐵道の列車中に於ける旅客の遺失品は隨分多數に上り其種類も千種萬態で帽子やステッキなどもあれば貴重なる指環や眼鏡もあり其他風呂敷等の手廻品さてはシュートケースやトランク等もある滑稽なのは越中褌を遺失する人がある、其中でも最も多いのは帽子であるが之等遺失物は各驛に於て掲示なし又あらゆる方法で心當りを搜索する現に先達ても女子大學の卒業證書が遺失されてあり段々調査して見ると本人が滿洲に現住して居ることが判り態々送り屆けた事實もある而して之等の遺失品は總て龍山倉庫に送致される

昨今は　警察官署から下渡されたものは總て龍山倉庫に送致される同庫では一週めこして競賣に附するのであるが年額三千圓は下らないといふことであるが之が爲に同庫では特に一倉庫を準備し常に整頓陳列して居るが恰も小デパートメントストアーの觀を呈して居るといふ、兎角之等の遺失品は總て旅客の不注意に基づくものであるが一面汽車旅行に馴れざる結果とも見るべく殊に遺失後届出でを怠る一般旅客の無關心には驚くの外はない

初氷

氣温は攝氏一度九分

寒い〳〵廿八日の朝は雪の様な霜で市内の處に依つてはさゝ水も張り愈〻冬の姿がハッキリ眼に見へて來た此れが今年の初氷で氣温は攝氏一度九分で去年の今日は八度三分だが六度ばかり低下してゐる

切手の割引販賣を取締

【釜山】釜山では郵便切手及收入印紙を割引いて販賣する賣捌所や郵便所があるので今迄氣が付かなかつたがそれは法の許さぬ所であるので釜山郵便局の監督で嚴重取締る事となつた

東大門署の道場開き

新築中なりし東大門署武道場は此程落成し二十九日道場開きを行ひ各官署學校等より多數の劍柔道士出場競技を行ふべしこ

滿鐵事件喚問取調

【東京電話】滿鐵事件に關し二十七日午前九時撫順炭坑土地調査課長城戸…郎東洋炭坑會社支配人大山…道兩氏は沼檢事の召喚取調を受けたり

鑑定課長

自殺す

收賄事件の曝露を怖れ

【三田尻電報】三田尻專賣局鑑定課長小串藤太郎氏は收賄事件曝露を恐れ二十六日朝睡眠藥を嚥下して自殺を遂げたり

ラヂウムは癌に効能なし

【紐育二十六日發電】デーバー博士はラヂウムの癌に對する効能を疑ひ陳述書を發表し米國カンツデオブ、サーヂェアンスは調査委員會を組織せるが有名なる學者にしてデーバー博士に賛成するもの多しコワ三倍月前獨逸の一博士が發表せるラヂウムは癌の二十八割迄全治する事が出來ると云へる説に對する反駁論なりこ

仁川取引事件公判

平山檢事痛論す

寧ろ原審は輕い

勝本博士の駁論

半島經濟界空前の大疑獄として天下の耳目を聳動した仁川米豆取引所前社長荒田貞次郎、飯田寅次郎、茂野喜雄、飛松三郎、淺野一、…吉川悦次郎、…五名に係る業務横領背任被告事件控訴公判は京城覆審法院で裁判長三田村、杉浦兩陪席判事係りで既に事實の審理を終了廿八日愈々平山檢事の論告に入つた、同日は被告方辯護人として勝本博士を始め松本、切山、朝倉、福田、臼井、李の諸氏、仁川の後藤、釜山の青山氏等の一流を網羅し尚附帶して提出された齋藤久太郎其他の百五十萬餘の私訴代理人東京添田男氏等が出席して法廷は頗る緊張した午前十時過ぎ裁判長開廷を宣するや平山檢事は公訴事實として『第一番判決を引用して事實の認定は爭へない事で今更論する必要は認めない大正八年財界破綻の際非常な損害を蒙つた當時の依頼から不渡小切手を振つて資金に融通し定期取引に取引をするが仁取は朝鮮における最も重大な歴史が在する會社で總べ人に示す立場にあるにも拘らず此の見るに忍びぬ醜態を暴露したもので其の背任は大で殆んど惡るさ結んで第一審判決の各被告の四年は至當なり又荒木の三年淺の二年中の判決は寧ろ輕い位で何等の酌量す處はない伴は病人で氣の毒だが之亦不得止懲役二年の先辯は至當で控訴の理由は認められぬ』と峻烈な論法で一蹴した、之に對して勝本博士はヤオラ立ち上つて『記録上では一點の爭ひもないが事明書には疑を挾み得ぬ點もある此の寫して法律論を述べ飯田の辯護をなやる』と前提して會社に對する種々の法律論から説き起し飯田が引繼いだ事務を惡いと知りつゝ所謂板挾みとなつて今迄の事情を暴露せしめず後に段々彌縫策を講ずる決心である取引所の利益を計る目的で敢てしたので不得止犯罪である事に注目されたい、定期があつて會社が維持されて行く、それを無視した場合は法律上べからざる行爲で氣の毒だが法律上の犯罪は構成するこの論告は何を根底とされたか解らない、…斯う渦卷に投せられたもので或る無しであるさすれば、飯田の心情は買つてやらねばならぬ兎に角判決も論告も何處を根據として任務に背むいた行爲と認定されたか具體的に解らぬが本件の場合損害を與へる意思がないなら犯罪は構成せぬ』こ結び本辯論に入る時正午過ぎ裁判長は一先づ休憩を宣し午後再開こなり

飛行機で遭難漁夫救援

【横須賀發電】特務艦關東は卅日正午拔錨ペトロパウロスクに向ひ冬營すべきが海軍航空隊より杖市丸大尉外數名飛行機二機を積載同艦に乘組邦人漁夫四十二名の救助方法を講ずべし

岩橋一郎は無罪の判決

窃盗被告事件

【大邱】尠からず社會の耳目を聳動きたる釜山岩橋運送店主岩橋一郎及同店支配人久保山省三に係る窃盗被告事件控訴公判は廿六日午前大邱覆審法院刑事部に於て裁判長森田部長係り伊藤李兩陪席判事家原檢事立會の上辯護士被告出廷し裁判長は被告兩名に對し無罪（第一審通り）の判決言渡しありたり

自轉車一輛で罪

【新義州】東京市田神區末廣町當時滿洲撫順居住大野武吉（三七）は過般京城に赴き南大門郵便局前で自轉車一輛を窃取し二十六日の急行列車に乘つて撫順に歸ろうこしたが其の途中新義州驛で列車取締警官のために取押へられ目下餘罪取調中

江畔書會

天長節に社友倶樂部で

龍山京管局有志に依り昨冬來設立されたる江畔會は四條派合原松芳畫伯を聘し熱心研究中なりしが會員已に五十を越へ作品中には優秀なるもの尠からざるを以て來る三十一日の兩日を期し午前十時より社友會々場に於て書會を催すべしこ

柳川人會

京城筑後柳川人會にては廿八日午後六時より松翠樓に於て秋季總會を開催したり

運動會

普成校運動會　私立普成高等普通學校にては二十九日午前九時より詩松洞の同校庭に於て秋季運動會を開催

見もの聞きもの

浪花座の歌劇　二十九日より四日間本町浪花座にて東京國民座女優歌劇團を上演する同位の劇團で過般上海へ渡り支那滿洲を經て二十八日夜入城さ共に四日間日延なしに興行する由

旭子會記念演奏會　三十日午後五時より京城劇場に於いて旭子會主催四週年紀念琵琶大會開催九州の名星法信山旭坤師を招聘し長良の秋風の一曲を法恩山旭子師の那須の與市其他各教師の出演あり番外應援として渭口與仙氏の尺八秘曲月下の陣淨瑠璃は玉糸の撥木の三味線太夫の東海道膝栗毛糸良井其他數番あるよし

鶴崎流琵琶會　鶴崎流筑前琵琶、演奏會は三十日午後六時より長谷川町公會堂に於て開催する由なるが今回は皆賀孝女史を會長とせる京城後援會員百餘名出席し出演者十餘名に對する忌憚なき批判をなすと

追善淨瑠璃會　二十九日午後五時より浴明町花月館に於て故野澤吉助追善淨瑠璃會開催語り物左の如し▲寶の入舟入登▲靑四い突▲沼津川若▲白石寶堂▲太十丸突▲玉三一樂▲辨慶櫻▲堀川皆越▲二の谷森川▲吉掛一黥▲鈴ヶ森吉幸

京龍館　名實共に改善を期すべく重役會議の結果社長石原大勘定の桐山剛氏交渉の任を帶び上阪の結果今回愈よ日活聯盟館として最新の封切りを撰擇上演し辯士も四名新に招聘することにした面目を一新するであらう二十九日よりの替り寫眞は日活劇『松の操』全四卷『妖邪』五卷新派悲劇『源粗光』全七卷

朝鮮中央鐵道株式會社

新線開通

佛國寺蔚山間　十月廿五日ヨリ營業開始

鳥致院清州間　十一月一日ヨリ同五日迄鳥致院、清州驛間往復ニ限リ各等三割引

來る三十日午後五時より京城劇場にて

筑前琵琶

四週年演奏大會

餘興、淨瑠璃、尺八、出演、

主催　旭子會

特製　ストーブ　特價提供

型・胴張型、各種アリ

（型録定價表御一報次第進呈）

大阪南區瓦屋町一番丁

大阪軍需品用達合名會社鑄造部

當る十月廿八日より

◎本社創業十週年紀念　特別大興行

◆京城キネマ界の權威こ誇るに唯れ憚からんやキネマ界の白熱戰は開始されたり

物質に空間に多大の犠牲を拂へる我喜樂館の營業振りを見られよ!!

○新派　第二立花集　全七卷

米國ナショナル特作映畫

○情緒劇　人生の十字街　全六卷

日活秋期特別撮影

○義士外傳　天野屋利兵衞　全八卷

松之助扇太郎延一郎合同劇

○解說者（順不同）小石田京花　高橋深水　竹內紅花　守住田州　早稻田賓部　村谷美翠　山根・雄　篠原正治　川澄正義　宋昌壽　○專屬琵琶師　木下花翠　義太夫　竹本津太夫　○技術部　小見山松翠　寒村江忠吉　宗像一衛　崔先天

○演藝部（順不同）前田吾州　森之助　春琴夕照　實川八百枝　小島次郎　秋月春曉　芳川一夫　中村卯吉　大谷三泉　中村ゆきえ　子役　阪本松子　同　今谷政行　女形　春浪稔子　同　芳川夏江　同　野村さし子　○和樂部　中村玉丸　中村小玉　金岡やす　金岡花江

主任　阪本勝次郎　石田旭花

日活代表　兒島定七　館支配人　横山富雄

我が館の戰士は武裝せり

勝利は常に實力ある者の手に期す

京城本町壹丁目

每日晝夜開館

日活直營　喜樂館　電話五九七

寛永御前試合（12）

小金井蘆洲講演

第二十六席

千「偖牛之助、汝に梅意斎傳の印ごして鄕の吉則の鐵扇並に大啄太光世の一刀を遣はす、就ては是より其方何れにか任官を致する事なれば假令五百石に一粒缺けても奉行する事はならぬ、宜いかそれ今一言申し遣して置く」

七日〳〵の御事供養三十五日も過ぎ四十九除も經つて一同に別れを告げ一先づ伊賀國安手郡荒木田村へ立戻る事になりました、斯くまでに十兵衛公が油断をするなご御注意を遊ばした山田浅右衛門は餘程賢い者には相違ない [illegible] に至つて佐矢の渡場で荒木又 [illegible]

き度きは此の十兵衛七年の間諸右衛門の爲に討たれましたが誠に惜い人物でございます、牛之助は故郷の荒木田村に立歸り [illegible] 國を遍歴致し夥多の者ご立合ひを致したが他の者は決して恐るゝには足らんか館鐵の達人山田浅右衛門には油断がならない、我等の彼等の爲めには呉く〳〵極まれたり、汝も彼者に出逢ひなば決して油断を致しては相成らぬ之だけの事は宗る〻な云ひ切るご最早壽命ご相見ゑまして其儘大往生を遂げました、牛之助を始め一同の門弟も悲嘆の涙に暮れましたが、遡るべくもござりませんから立派なる葬式を營み、く濁花を致して居りましたが十兵衛公のお言葉に依つて早速江戸表へ參る事になつた、乃公は柳生流の極意を授けられて居るがまだ世間で乃公の名前を知らない、これは一つ江戸へ出ない前に諸所を歩いて些ご名前を弘めたいものだ、先づ名前を [illegible]

るには京、大阪、江戸の三ケ所に [illegible] 何うご斑牛之助も幼名で [illegible] くないから拙方の姓を名乘 [illegible] 名を又右衛門ご改め [illegible] ご改名をし [illegible] 荒木又右衛門 [illegible] て急ぎ故郷の荒木田村を出立つして先づ大阪へ行つて見やうご大阪へ乘込んで參りました、所が幸い京島に空地があつたのを幸ひ早速此に道場を立てる事に [illegible] りました、尤も國元から若干の金子を持つて參りましたから立派な道場が出來た、表へ「柳生新流指南荒木又右衛門」ご記した桧の看板を出し下男を一人置いて自分ご二人暮し、直にも弟子が來るだらうご思つたのが何う云ふものか一人も參りませぬ流石の又右衛門もこれには閉口した、何うしても來ない之れは殊に依るご道場で竹刀の音がしないから來ようご思ふ者も遠慮をして來ないのだらう、何か工夫はないか知らんご色々考へた 又『傳助や〳〵』傳『エ、何か御用で』又『何うもさつぱり弟子が來んな』傳『何うした譯だか分らねいだ、これだけ立派な道場が [illegible] してあるのにお前さんの腕が鈍いに違いねいだ』又『イヤ拙者の考へでは道場が餘り静かだに依つて來る者も遠慮をして來ないのだらうご思ふ』傳『成るほど』又『ごころで竹刀の音をさせたら些ごは來るだらうご思ふ、何うだ拙者の相手をしないか』傳『マア止しますべね』又『何故』傳『何故だつて私はあ是れまで色々な事をやつて見たが世の中に劍術ほご詰らねいものは無いでがす、頭あポカ〳〵毆られて參りました、有難うごぜいます禮を吐いてるだね、那んな莫迦〳〵しい事はまあ止しますべ』又『イヤ其樣なごこ [illegible] 本當に稽古をした處が仕方がない、竹刀の音さへすれば好いのだ、だけ只では、かんに依つて一貫 [illegible] 拙者の身體へ些ごでも竹刀を附けたら二百文遣る』傳『ナーンで [illegible] がすつて、私がはあお前あさまの身體へ竹刀を附けるご二百文貰へるだかね』又『然うだ』傳『那事こそ屁をこくより譯はねいさ遣るべい』

注射器各種

醫療器械材料 京城長橋町通

石井赤心堂

電話二〇〇番

十月三十日

（舊暦九月十一日）三十日　日曜日▲丙寅▲卯へ時 劍▲先勝▲是宿▲定

▽三碧▲意に反する事ある日なれども新計畫等亦面白からず

▽四緑▲順風に帆を揚ぐるが如く諸事至極好都合に進捗する日

▽五黄▲行逢ひこなゝ達能はざる如き日苦しみ中變なかるべし

▽六白▲延許の狂ふ事ある日に付諸事を慎む大事は翌日廻し吉

▽七赤▲入り代り立代りに損害の來る日急ぐほご大破れが來す

▽八白▲火災の日常業は慨ね平調ならんも新事業は見合せて利

▽九紫▲選擧の日なるも妄進みは慎む起業旅行求職結婚其他皆吉

▽一白▲成功の日意外な吉事に逢ふべく水物商賣の如き殊更妙

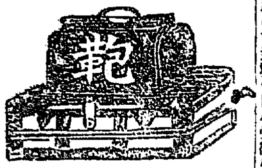
▽二黒▲意識は順に居ても内部極めて逆境の日小兒病氣注意

製造販賣

[illegible]　朝鮮製靴合資會社

電話京城九八七〇〇番、振替京城一六〇〇番

卸小賣



苹果買入
栗

朝鮮館山郵前

東亞物産商會

電話七〇二番　略（アト）

齒科專門　保齒醫院

漢江通り京龍新坂下　齒科醫學士　渡邊文貫

小車唐箕製造販賣

京城湧川一町目　電話取次一四七

元井組　飯田工場

仁川本町

Ⓢ白神洋行

京城南大門外　平壌本町

白神洋行支店

洋鐵鋼、諸機械、工具附屬品一切

金物商

月刊物價表　御申越次第進呈

心靈問題叢書

五日〆切

締切嚴守

即刻申込まれよ！この好機を失ひて悔を千載にのこす勿れ

東京市麴町區山元町一ノ三　新光社　電話九段二六二六　（振替口座東京四三二四〇）

お化粧の順序

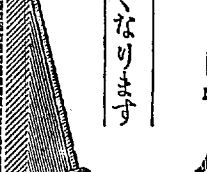
カテイ石鹸　クラブ洗粉　クラブゼリー　クラブ白粉　クラブ煉紅　クラブ白粉　美人

美しい方は皆なクラブ白粉の愛用者

クラブ白粉

をお用ひになれば

貴女のお顔はまだ〳〵美しくなります



名實共に日本一

福助足袋（ふくすけたび）

福助足袋は不思議な位ぴつたりと足に合つて皺一つ寄りません。そして何だか足袋の底から歡びが湧いて來るやうな心持が致します。

福助足袋はペッチンでも朱子でもキャラコでも木綿でも、皆仕立が丈夫で染料がよいので「洗ひが利く」といふ事が眠く知れ亘りました。それで一足の福助は何日も何日も穿けますから、學校へお通ひの皆様がお穿きになると、非常なお徳になりますのです。

陸棉出廻僅少

[illegible] 用に供給する結果なるべく本年 [illegible] 綿會を開き會員百餘名（現在二ら引續き會員有志の館閲演藝 [illegible] の料理あり、道路よりは會もあり來賓には茶菓折詰の饗 [illegible]

普校聯合運動會

[平壌] 下御渡歐活動寫眞會は二十六、十五日現在の在監囚徒數は刑事被告人八六受刑者五百七十八 [illegible]

十一月二日新兵入營

▲上田湖南館長 [illegible]

▲白濱參太郎氏（湖南警察部長）

▲川添卯一郎氏（龍山師團司令部）

[illegible]

眞我師歐洲へ

[釜山] 釜山知恩寺住職こして [illegible] 付釜山明照婦人會發起さなり其 [illegible] る事こなり不日當地出發の由に [illegible]

京取解決案と鮮銀

掛井鮮銀理事談

京取紛擾問題に對する解決案は二十七日釘本天日氏等の來訪により委細說明を聽いた其成行きを只今（廿八日午後三時）東上の美濃部總裁に打電しようとする所である假に仲買人組合にてシンヂケート團組織されたとして鮮銀から融金をなすことになつても直接に鮮銀が貸出すのではなく或銀行を通じて貸出すことになるであらう要するに今の所では關係者から成行きを聽いた迄で中間の銀行からは別に話はない尤も天日氏の言によれば何れ中間に立つ銀行から夫れ〴〵話があるとの事である中間に立つ銀行が一二銀行に止まるか多數銀行の集團か一切關知しない

解決案成否如何

釘本天日氏の兩社長が鮮銀訪問の經緯と殖產銀行の態度に就て某消息通は語る京取問題に對する金融に就ては釘本天日兩氏も從來の會社取引關係上先づ順序として殖產銀行に當りを付けて見たるが殖產銀行側は此際鮮銀行の態度に就て鮮銀當局に意見を直接質しては如何と懇意したるが如くにて其結果釘本天日兩氏は二十八日鮮銀に掛井理事を往訪したるなりと而して本問題に對する殖產銀行の態度に就ては問題の進行中殊に同行有賀頭取不在にて何事も語る自由を有しないが金融に就ては金融の程度によりて大小二案がある如く大は百五十萬圓小は七十萬圓位にて金額の相違ある如く各條件も相違してゐる今日の財界に於て百五十萬圓の大金を一銀行に於て引受くるは容易ならぬことで此は銀行團に於て引受けたるが可いとの說も聞いて居る本解決案が何れの案によりて決するかは固より不明であるが〇〇〇〇〇に於てウンと言へば解決さるべきものと觀られる仲買人諸士に於て團體的犧牲精神と誠意披瀝の要あるは勿論である

釘本氏訪府

京取市場紛擾善後策は調停者會社重役の奔走により逐日局面は漸次好轉すべき事情にあるも何分にも問題の焦點は金融關係にあるを以て外部に於て第三者が斡明する程にスラ〳〵とは運び難く先決問題として銀行と總督府の諒解を得る必要あるを以て二十八日も調停者及び重役は總督府と銀行間を往返し居り二十八日午前十時釘本京取社長は總督府に關係當局を訪問し問題經過に就て委曲陳情する所ありたり

現信總會

二株割當決定

京城現株取引信託株式會社の創立總會は二十八日午前十一時より公會堂に開會出席株主四十七名此株數三千四百五十八株委任狀四百二十七名此株數七千六百廿株合計一萬一千七十八株を算し法定數たる過半數に滿ちたるを以て先づ發起人側より創立經過の報告あり夫れより議長の選擧に移り中村再造氏擧げられて議長席に就き定款承認の件を議したるが一株主より定款第三條第二項の營業目的に就いての文句改正を提議したるも原案贊成者多く異議なく可決次いで役員選擧に入り議長指名の下に池田長兵衛、林田金次郎、木尾虎之助、田中友吉、吳國泳の五氏銓衡委員に選ばれ別室に於て銓衡の結果取締役に中村再造、齋藤久太郎、三好和三郎、梶原末太郎、市川雄一、尹致泰の六氏監査役に全錫準、尹命殷の兩氏當選之より先定款に取締役七名監査役三名以内と規定しあり都合十名の役員を置く豫定なるも現信合併後に補塡すべく特に二名の缺員を殘せし旨議長より說明あり更に第二現信合併並に合併に際して舊株に對し優先株として一株を割當つるや二株とするやに就て株主に諮りたるが二株說に滿場異議なく可決確定して午後零時半散會せり

地方財界

米價高と

慶尙南道狀況　鮮內地方經濟狀況は昨年財界大動搖以來米價の暴落等に依り極めて不況沈衰の裡にありしが今年度麥作收穫期より最近米價の昂騰に伴ひ漸く

生氣を帶

來り加ふるに米の豐作說は農民に非常の好影響を與へ從來の經濟的不安は稍一掃されんとする形勢と從つて地方金融界は銀行金融組合東拓金及び手形交換高等一般に增加の趨勢を辿り稍閑散の狀態を呈するに至れり今慶尙南道廳調査に係る最近の管內金融經濟狀況を聞くに

一、物資の生產移動狀況に就ては主なる生產物は農產物にしては米大豆を第一とし此の他に特記すべきものなし本年大豆の收穫豫想は三十二萬石內外にして前年に比し減收の見込なり其他粟の收穫豫想は二萬七千四百餘石にして今や盛熟期に入れるが夏期に於る

害虫も差し

たることなく天候順調なりし爲め一部に豐作見込にて其收穫豫想は第一回調査百八十七萬七百餘石にして前年實收高に比し約一割六分の增收見込なり次に水產物は一般に豐漁にして九月中に於ける漁獲高は釜山水產會社調査に依れば三萬二千七百餘圓統營港の煎子移出十一萬圓なり一般物資の移動は頃來米穀綿絲高に連れ或は季節物の諸雜貨仕入等荷動漸次增進したるが大勢は未だ不況の域を脫せず

釜山港貿易

狀況は輸移出總額三百五十四萬四千圓にして前月に比し二十五萬四千圓を減じ輸移出入總額は四百三十六萬四千圓にして前月に比し七萬五千圓を增加せり移出の減少は米は前月に比し百萬圓增加したるも海產物牛等著しく減少せる爲なり移入の增加は綿絲布砂糖、麥粉等減少したるも原燒其他に於て夫れ以上の增加せるに因る

穀物重役會

京城穀物組合重役會は二十八日午後一時より開催午後二時半より引續同組合臨時總會を開催し左の件を附議したり

一、評議員更迭に關する件
一、組合員新加入に關する件
一、現物市場取引に關する件

尚二十九日は來る十一月一日より開市さるべき延取引の手振方法に付組合員の打合せ會を開き續いて其練習に移る由又同日午後三時より正米延及現物取引方法に關し重役會開催

朝郵所有航船

朝鮮郵船會社の第十期前半年度末たる九月三十日に於ける定期航路は命令私營併せて十六線所屬船二十一艘一萬七千七百七十四噸傭船二萬一千四百六十噸にして當半年間の航海回數六百四十回航海浬數延長四十萬七千八百八十浬其輸送貨物十八萬五千八百五十七噸船客十一萬八千二百八十六人なり

朝郵利益分配案

朝鮮郵船會社今期利益分配案は昨紙既報せるが相違の點ありたるを以て左に再報訂正す

前期繰越	九、六七七
當期利益金	一五二、七一五
合計	一六二、三九二
內	
法定準備積立金	七、七〇〇
役員賞與金交際費	一二、三〇〇
配當金（年八朱）	一二〇、〇〇〇
次期繰越	二二、三九二

◯京阪金利　廿七日現在の如し

コール	東京	大阪
無條件	二三、〇〇	……
翌日物	二三、〇〇	二四、〇〇
六十日物	二三、五〇	二六、〇〇
通知引步合	二四、〇〇	二三、〇〇

◯日銀帳尻　廿六日現在左の如し

發行高	一、一六五、七三五
正貨準備	一、一六五、七三五
保證準備	一二〇、〇〇〇
貸出高	一九、七五六

◯朝鮮銀行券　廿七日現在左の如し

發行高	一二二、六九七、〇九二
正貨準備	五五、〇二一、八三一
保證準備	七、六七五、二六〇

配當一割六分

【當地】晉州自動車株式會社は廿四日定期總會を開催せるが本期配當は年一割六步に決定せり

株式（廿八日）

東京現株

銘柄	廿八日前場	二十七日後場
鮮銀	一二四・七〇	一二四・五〇
同新	三九・四〇	三九・一〇
東拓	六四・五〇	六四・一〇
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
連取	七五・七〇	七五・〇〇
南宅	一八・〇〇	一八・〇〇
朝紡	二五・〇〇	二五・三〇

大阪延取引

○二十八日前場

銘柄	寄付	大引
大新	一二四・九〇	一二三・〇〇
鐘新	三四八・五〇	三四三・五〇
天取	七〇・二〇	六八・七〇

安東株式

○二十七日後場

	寄付	大引
安取當	三一・五〇	三一・三〇
先	三〇・二〇	三一・五〇

調金經過

既報の如く共協より第三回目の警告下つて以來市場信託の各重役は頓に緊張して紛議解決を急ぎ早決濟資金調達成り次第直ちに開市さるゝ運びとなり二十八日午後一時信託會社に重役會を開き調金問題に關して協議したる後釘本天日兩社長は打連れて殖產銀行に中村理事を訪ひ懇談したる結果銀行側も大部分諒解したるも金融總額の內百五十萬圓を殖銀一行にて負擔し得るや疑問なれど兎も角相當盡力は吝まず有賀頭取歸任の上何分の回答を爲すべしとの事に引上げたる由なるが二十九日午後には有賀氏も歸任することゝなり居れば問題解決も愈々近きに在るが如し

當局意向

其筋の第三回警告に對して紛議調停者たる板橋氏は總督府を訪問して紛擾の顚末を述べ休會の止むなき事情を具申して當局の諒解を求めたるに殖產當局は大要左の如く語れりと云ふ

元來京取市場は產業開發上鮮內諸株式の公定相場を附する機關として設立許可されたるもので其設立目的なる近來殆んど之れが設立目的を沒卻して當所株の賣買のみに熱中したるのみならず殊に今回は單なる京取株一個の受渡不履行の爲め約一ケ月に亙りて紛擾を續け他株の立會を休止する如きは全く許可精神に違反したる行爲にして斯くては監督當局として已むなく法規に從ひ斷然たる處置に出づるの外なし故に今後と雖も單に京取問題の爲め休會を續くることは默認し難し然れども當初の許可條件が遵奉して營業を續けんとするに於ては當局も深く追窮せざるのみならず進んで關係銀行等にも助言して解決を速かならしむることに援助を吝まずと云々

安取手堅し

地場の市況

（安東縣）安取は思つた程上げ足を見せなかつたが落ちても直ぐ戾して可也の手堅さを見せた矢張りこれは京城の安心說が人氣を喚んで人氣が加はる買氣が逼みタイ近い日迄京城筋では持て餘して買手にかゝつてゐたので當所株が今日迄り余り大きな數には上らないが買戾しさうゝの傾向を帶びて來たかのやうに思はれる元來安取から論じても採算から按んじても到底此邊でクロツいてゐる値頃ではないだけに或る好いチヤンスさへ來れば値上りを見るは當然のことで少し見過ぎて鬼の笑ふ來年の話しであるが今からもう八十圓說が出たゝしてゐる然し今日迄りは昨日に暫めた人氣觀が實際背景に値ひしたのか双方共今一步突込まぬところは面白いだが內地株界は元へ戾した米は高くなつた寄しく人氣が立ちさうだ只笑つては濟まされない末月は後余す處二ケ月此二ケ月が又昔入時であつて又相やましい月だ先づ今日の處安取と漸やく堅實味が加はつたと見てもいゝだらう（二十六日）

大連株式紛擾

『大連』大連株式商品取引市場に於ける株信直き取引は買方一派の買占策に因つて愈日來暴騰を來れる反感的に吊り上げらるゝ傾きあると共に賣方之に對抗し遂に賣買双方の確執となつた加之買方の買占行爲は益々進められたるに對し賣方は倫正苦痛となり努め爲替の調節を圖り外廿四日より殊納金の徵收を行へり夫が爲め二十五日後場は休會の止むなきに至りしが買方の値合金は二十三日の帳入爲替より二十四日の爲替百二十圓は僅か五圓方の値上りに過ぎざれば方全部は暗に何等かの默契あるもの如く値合金を納むる氣色なく事態は愈々重大となり解決せられざる模樣なり

事態益々不穩

前項記載の如く株信直き取引の賣方中値合金未納者七八店に係る委員との會合は午後一時に至るも容易に解決の曙光を見ず外株式部第一部取引人四十一番背木周作氏に對して取引所は定期取引當限株信の證據金未納により營業細則第二條に依つて違約處分に附し斷然たる處置を取つた同時に背木氏は株式部第一部委員たるの辭職を申請し取引所は直に認可した後場は尚他店に對して株信直きの値合金未納の件につき組合との會合行はれつゝあるも定期延べ直き共金部解除整理の名の下に休會する事となつた

臆病風去らず

北鮮だより

豫想通りに當月限は大した過不足も無く平穩無事の納會を告げたが此を機會として新甫が人氣一新の氣分に迎へられるかは尚は疑問と觀る向が少くないのは尤も相場の良好に歸きつゝあるは爭ひ難き事實であると同時に大體に於て最早底値を入れ了つたかの感はあるが未だ何んとなく嫌な氣味がないでもないだけ味は良好と思ひつゝも買ふのに確信が無く只だ恐る〳〵買付く狀態に見受けられる然も一般が不安氣分に囚はれ居る爲めなつて不知不識の間に賣込んだ玉も可なりの數量に達して居る譯で行かぬだけ買方に强味を感ぜぬ譯でもありするまでの良好さと云つても何れも知るこれから先き日先不透明の大持合中に底調を遂げ終るに至るやうならば共處に始めて力ある局面の展開を見るのであらう

雜株は氣丈也

綿系安の脅威より紡績株及主力株は鈍軟ながら他の雜株は存外氣丈を保ちて得たのは要するに時近の高値唸合ひ氣段げの一巡後に依り安値には突込み難しとする一般的氣味が頭來の面に値待の買物が潛み且つは賣方の利喰が出廻れる反映と思はれ流石に一般が氣迷ひ不安を去らぬ程に値頃の力を感じつゝあることが看取さるゝ頭味が市場內面的悲觀一掃後の反撥力を加ふる根本事情となるか特た相場をして益々灰汁拔けの機を造らしむる原因となるかは大に考究すべき點であらう

手詰は片付く

休日前の形勢にて最早高値唸合の當中手詰賣は一段落を告げたるもの如く思はれ從つて此上の安値を賣込むには何等か新材料に待たざるべからずと認めらるゝだけ日先は幾分晴れ模樣を示す順序と期待され事實亦今朝は期近に大なる手詰りがつゞかに拘はらず主力株の鈍重を免かれざりしは畢竟一般人氣が極度に萎縮して未だ新規の買物を促かすに至らぬと一面綿系の崩落より騰迫された次第で斯の如く買物薄の現狀では此細、悲觀材料を以てしても案外ノ氣崩れが無いと限らぬとの不安が潛ふのも是非なき成行ではあるが然かし期近には此上に手詰ればならぬ玉は多くないと觀て可なるやうである

主力株强氣觀

近來金融界の波瀾緊縮、因つて株式市場の人氣も惡化されたやうに見らるゝが今日に於ける取引狀態は當時と面目を異にしパイカイの玉が著しく增加して現はれた以上に前內が出來てゐるのであるから取引所の收入も決して悲觀などすべき狀態にはなつて居らぬ從つて一割五分の配當見越しとすれば百五十圓の東株大株は九十五圓迄の讓歩だから五來では如何なる場合にも賣る餘地なきは斷じてない金融緊縮の影響も今日既に之を受けてゐるのであるから本年末に至らば寧ろ惡くはなからうと思はれる事件

議會に提出された取引所の改正案に就ては今日既に之を忘却されて居る觀もあるが今期議會に於て前述の取引所改正案の如く商四條に依れば株式會社所と合併し安所は他の取引所と規定されてゐる同株は京都、神戸、常島、名古屋等を合併するとか又は大連取引所とか合併するとか云ふ樣な場合もあらうか今日直ちに的確なる豫想を下す事は出來ぬが必ずや同樣の設定に依つて取引所買收時代が到來する事は避け難くない之等の必要上から將來增資の運命に逢著すべき株式取引所に關する事務を得るにあるが之に附帶するもので現銀で賣買取引所に改正案の依れば賣買及び信託兼營を行ふもの之をこう信ぜられる今後の取引所狀態は增加し來る事は疑ひを容れぬと信じられる今日の悲觀時代から脫して樂觀時代に這入つたならば東株大株の二百圓實現は必ずや之を期し得る市場の人氣は漸次回復の運に向ひ前途に一陽來復時代到來するは勿論にして一般的に前途を悲觀する必要などはない

仁川米豆取引所仲買人
坂倉仲買店
電話 六五〇番 三五五番
…有價證券現物賣買…

採算買擡頭

頃日來短資は頻落するも未だ金融界の裏面に潛在せる悲觀は除去せられたる譯にあらず生絲の賣行は稍々活氣付き來たりとはいへ之れにて未だ底を入れ了りたる者なりや否やは疑問にして何れも好成績を擧げつゝあり又各事業會社は何れも生產制限其他の聯絡なる取りて現今の窮迫を凌ぎつゝあるに拘はらず依然として事業界が大なる所謂の影響を受けつゝある事は明白にて不純分子なる者は大略驅逐せられ財界に大動亂を捲き起したる事は今日に至りて全然蘇生したる者とは云ひ難きも株式會社仁川米豆取引所仲買人の如きは、（以下判讀困難）

株式會社仁川米豆取引所仲買人
（リ）李孝健
電話長百四十五番
電略（リ）又ハ（ヤマリ）

仁川米豆取引所仲買人
布井仲買店
電話 二六四番 三三五番

米況（廿八日）

仁川期米

前場浮動

前日後場は阪地安に吃驚せし賣方一派の狼狽投げと秋落の追擊に三十五錢の低落高に今朝の人氣は幾分强含みの模樣にて前場桑名の夕場安に賣込みし賣方の手詰め寄付は前日引値に三十五錢安の三十五圓十五錢の低落より

逆に十五丁安に付き

▲第二節　當中出來ず先七十錢より八十五錢と蹴上げしも戾りは人氣の高賣いに伸力を殺がれ五十五錢と押し六十八錢と引
▲第三節　大阪寄四十三圓五十二錢と前日の中值より五十二丁高を移し當中出來ざりしも先五十錢より更に九十六錢と蹴上げしも戾りは買物慢勢に八十二錢と押へられて引
▲第四節　當中出來ず中三十錢先五十五錢より八十一錢と蹴上げしも買方の見送りに七十錢と押へ六十五錢と押し

より十錢迄氣崩れ

▲第五節　當中出來ず買方見送りの爲め七十錢と頭重く引
▲第五節　當中出來ず先五十錢と押日は日

先軟派の利喰いや强氣の買い狙ひに六十錢と跳返し五十錢と頭重き持合ひに引

戾り賣偏傾

▲第六節　當中出來ず先五十錢より六十二錢と上辿りの機先大阪四節十六錢の安唸さに三十八錢と叩かれ押日は日仕舞筋の引物多く再び六十錢と返し五十錢と持合ひに大引せり

今朝阪地の氣配高を無視して前日の安値と同じの三十五圓五十錢迄叩き込みて寄付きしは前日投げ殘りたる賣物と桑名の夕場安に正米の不勞を添へて新規買物を誘致したる結果なり死に角當限納會に際し阪地の成行きが斯かる他愛なき步調を移せる以上何萬石の受米敢行の羽香のみを恃みて買擡げる點くろは危險にしてのみに伴ふ正米の騰迫は免れしさの之れに

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
今村覺次郎
電話長三三七番 三六八番

見地より人氣は殆んど戾り賣りに一致し一面强氣一派も期節と値頃の關係上警戒を怠らざれば假令此の値阪地が多少の引戾しを示す共果して當市場の伸力が之れに添ふや否や疑問たるべく併し阪地西の谷一派に對する受米悲觀の壓あるも一部の觀測に依れば因作の結果として米價粗暴の年柄なれば壁醸造筋が西の谷一派との聯絡な取りて現今の當中に對する受米買い付の豫約ありとの說も傳へられつゝあれば餘り悲觀するに足らずと否認せる向もあり何れにしても日先五十丁や百丁の反落に催て輕卒に當面賣なさんか其の裏を搔かれ易き恐なきにあらず

買方浮腰

前日阪地の突飛安に吃驚せし一先づ投げ過ぎたる買方も尚未練を殘して押目は買ふて見たき模樣なるも何分正米界の人氣が餘り面白からざると註目に値いすき投機香の見付からざるに浮腰となり押日は逃かさず買手を振つて見るも逃け腰の早き爲め相場に底力のなきは止むを得ざるべし

決戰は新甫後

阪地の相場が本日、當限納會を目覺ましく四十三圓丁度迄叩かれ强氣一派は共に對抗して買仲す事能はざりしは矢張四圓の大阪の事情が賣方に引際に至り爲にして大阪の當限が引際に味方せるが十一圓八十錢迄跳返して納會し中限も四圓九十錢に盛返したる處より推せば一部の噂さ程買方が悲觀されざるのみか强氣が全力を注ぎ必死の奮鬪を試みんとする標目は中限にありて且つ鎌入不足の材料が潜れる今日之れ以上易々と賣方の舞臺に獨占されるものとは見做し難く愈々月末戰も跡半日を餘すのみなれば細局此邊の往來に越月し新甫後合併に於て双方決戰的行動を取るに至るべし

當限の受渡

今前場を以て納會を告げたる當限は受渡高千九百石値段三十四圓二十九錢にして其內譯左の如し

渡方㊀三〇〇石▲㊁五〇〇石▲北丸一、一〇〇
受方㊉九〇〇石▲㊁六〇〇石▲㊉三〇〇石▲丸龍一〇〇

賣買差引殘

賣方　㊂三、九〇〇▲㊃四、八〇〇▲カ二〇〇▲㊂引五〇〇▲㊅三、八〇〇▲丸北一、二〇〇▲山市三〇〇▲丸ノ四九〇〇▲又一〇〇▲豐八〇〇
買方　㊀一〇〇▲㊄一〇〇▲㊅二、一〇〇▲㊆四〇〇▲九二、一〇〇▲又丸一、七〇〇▲㊈二、〇〇〇▲入市二〇〇▲丸大四〇〇▲丸合一〇〇▲㊉一、三〇〇▲山り二〇〇▲イ一、

	廿八日前場	廿七日後場
寄付	三五・五〇	三六・九〇
止値	三五・五〇	三五・六五
高値	三五・九〇	三六・九〇
安値	三五・一〇	三五・五〇

	前場公定値	後場公定値
一節	三五・五〇	三六・九〇
二節	三五・六七	三六・五一
三節	三五・八五	三六・六二
四節	三五・七五	三六・六四
五節	三五・四七	三五・八三
六節	三五・四九	……

値段	當限	三四・八九
	中限	三五・六二
	先限	三六・二〇
取組高	當限	千九百石
	中限	八千五百石
	先限	三萬八千二百石
出來高		二十五萬八千四百石

後場反騰

大阪後寄四十三圓六十二錢の商移り當中出來ず先三十五圓九十五錢と四十五丁の上放れに寄付たり

▲第二節　當中出來ず大阪二節の一段高に先六十五錢と刷れ始め五十錢と見直したるも買物絶かず十四錢より九十錢引公定三十六錢
▲第三節　當中出來ず中七十錢と叩かれ先より三十二錢あり二十錢引公定二十九錢
▲第四節　當中出來ず先三十錢と伸び二十九錢より三十三錢と伸び二十六錢と押し七錢引公定三十錢

米與餘聞

昨後場阪地の五節が一氣に百丁近くも拋つて來たにには大底な强氣の連中も逃げかけたが泡を喰つて中には途な踏み越した〳〵の行つた向きもあつたが何の出來さうにも無くて人は何か氣の毒にやらるゝ後場市場の當限分一に依りや他人一倍に余計な汗を流さればならぬ▲併し之れも全くは阪地の當中に對する硬軟双方の鼻息が五十萬石受取るとか亦は六十萬石渡すとか何れ勝つても負けても千丁相場と睨んで居る結果である▲さすれば本日の當限納會を見かけて百丁近くも拋つて來たのだからドウセ碌な事はないと皆が狼狽て込むのに無理はないが何しろ西の谷が强士俵際になつて賣方から足下を見透かされるやうなへマな角力は取るまいが何しろ正米や各地の定期が聞はぬ丈は步のない事は確かに物語つて居る▲其處へ之れ以上の米高を望むのは少し時期が早い踏があるさも一さつは買方の一味たる株式筋の石井が過日背負つた脇が傳へられて居るなど此の買物は其の買頭りないと見做す向が多い事である

京城正米

荷主は依然高值を持して賣急がずさ雖精米筋の多くが高值不探算に買見送りの姿なると前日來各地の軟弱移りを受けて今朝は四五十錢安の三等台格三十四圓地摺上玄三十二圓並三十一圓見當に引弛みたるが双方傍觀の體にて商內至極閑散なり

大豆

產地賣惜みと移出筋の値頃狙ひに氣配底堅く龍山物は仁川着の八圓五十錢見當を唱へ前日に比し二三十錢高を呈し新物は十一月中產地積仁川引込線渡しにて全部汗浦二車十七圓七十錢替に出來せり

仁川正米

定期の不勞に益買氣を殺がれ今朝は手持者の唱へ三等合格古米三十三圓新米三十四圓五十錢同先約三十五圓二三十錢見當なりしも買人更になく見送りの姿なり

釜山正米

精米筋の必需買に賣方高唱へにて見送りの商況にて結局保合相場慶北三等穀良三十五圓二十錢同神力三十四圓四十錢所にて二千叺の商內ありたり
大豆　見送氣配の軟弱にて結局二十錢安の十七圓六十錢にて八百叺の商

群山正米

內地だより（一十八）
十二月中限同末限共三十四圓三十五錢現物持合（二十八日）

東京期米

內地正米弛む

今午前中の內地正米は大阪同型東京四十錢

下關二十錢安

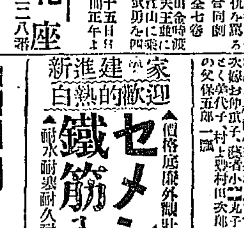
○廿八日前場先限
寄付 四二・〇九
二節 一・〇九
三節 一・八九
四節 一・六九
五節 一・九一
六節 [illegible]

廿八日後場先限　四二・〇〇

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
仲買店
電話長三六七、三六九
電略ハト、又ハ（マ〇ト）

大阪期米

	二十八日前場	二十八日後場
當寄	四一・九七	……
止め	四一・八〇	四五・一八
中寄	四四・九九	四五・五五
止め	四四・九一	四三・六一
先寄	四三・五二	四〇・〇〇
二節	[illegible]	三九・九七
三節	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]
八節	[illegible]	……
九節	[illegible]	……
止め	[illegible]	……



兵庫期米

○二十八日前場　寄付 四二・二〇　止め [illegible]
二十八日後場　四二・二四

下關期米

○二十八日前場　寄付 止め
二十八日後場　寄付 止め

各地期米

○二十七日後場止め
東京 四一・七〇　大阪 四三・〇一
兵庫 四一・一六　下關 四〇・〇〇
桑名 三八・四五　名古屋 四〇・九〇
熊本 三八・〇〇（?）　金澤 三八・一〇

當限 三一・九九　中限 …… 先限 四〇・三三

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
㊄仲買店
電話長四〇四番二〇番
電略（ア）又ハ（カチメ）

大阪三品

倫敦綿塊相場四十斤米棉十八仙九五
○二十八日前場寄付　前場大引
十月限　納會
十一月限　二八・〇〇
十二月限　二八・六〇
一月限　二八・八〇
二月限　二九・四〇
三月限　二九・二〇
二十八日後場　休會

往診 自午前八時 至午後十二時　花柳病は特に夜間診察
宅診（午後一時以後）
仁川仲町一丁目（仁川俱樂部隣）
入院隨意　電話六一六番
王生醫院
略痰、血液、糞尿其他細菌的檢查診斷の需に應ず

演藝案內

○演藝案內原稿は午前十一時迄に御屆け被下度し十一時以後に到着せし原稿は廣告欄の都合により翌日廻しと相成候やも難計候（係）

本町一丁目　電話八七三　大正館
當る十月廿八日より大提供
○喜劇『アラビヤ醜聞の實況』
△新劇『松平長七郎』全卷
尾上松之助劇漫遊二
△人情活劇『再生の男』全五卷
米國ゼル、エル、フスキー會社傑作
△新派悲劇『見果てぬ夢』全五卷
日活向島第二部第三部同所撮影
斯界の名優ウオレス、リード氏主演
森英次郎、中山歌子、酒井米子主演
年老いたる盲一杖を便りに尺八を吹き袖乞をなす背に掛けたる板に『明治三十年生れ堀田孝子を探す』
憐れなる堀田平馬の流れ行く先は血？淚？
每月一日、十五日、日曜祭日晝夜開館

舊綠兵場電車通　電話三一一番
活動常設　京龍館
當る二十九日より新寫眞提供
一、實寫　パテー週報　一卷
一、滑稽　　給　　一卷
▲大活劇　西部劇　破邪　全五卷
資に香すや人生の行路難山河に香す大海の腸だる此人情の名の表裏にあり奮鬪努力
▲新派大悲劇　松の操　全四卷
オイ桃香僕だ！だお前は僕が分からないか桃香…此子が僕の女かわいい…だわかからない細井狂一ついかれたのであった僕は失戀の一余りの胸に抱かれた儘の仇か戀しい？
舊劇尾上松之助中村扇太郎合同劇
▲源賴光　全七卷
武勇一世に高い源賴光が阪田金時渡邊綱、平井保昌の四天王を引き連れ丹波大江山に巢くふ酒吞童子を討ち平げた武勇を示す
松之助得意の大武勇劇
大祭日は晝夜二回開演
午前十時より　一日十五日正午より

本町五丁目電車終點　電話二三八番　浪花座
當る十月廿九日より
日本最初の試女優新派
東京國民座　女優劇　一行來
本興行は四日間限り日延なし

本町一丁目　電話一六三七　黃金館
當る十月二十八日より
△滑稽　貢物　寫眞東宮殿下　日光行啓
△活劇　日蓮大吉郞　全四卷
澤村四郎五郎十八番中の俠客劇
△大活劇　星の魂　第十一第十二篇
見落しするなキヒーダール命の大冒險
△悲劇　春子の淚　全六卷
すらりとした親子の牛生は終始淚の物語り稱れの見る新派大悲劇　悧俐な男女優大努力劇

本町一丁目　電話九七番　有樂館
當る十月廿八日より
日本活動寫眞株式會社創立十週年紀念特別大興行
○京城キネマ界の權威と誇る仲良の活動寫眞にて熱戰は始まれり
○○○寫　海豹とペンギン　三人
日活會社秘資故立花貞治郎氏が苦心の映畫
○久々にてナショナル映畫　短篇傑作公開
米國ナショナル映畫
新派　第二立花集　總の紐　團裂お玉
活劇　人生の十字街　全六卷
日活京都派　主任石田旭花外五名
巨星ヘンリイヒーウオルソール氏主演
悲劇　中村扇太郎、賀川延一郎大合同
外傳　天野屋利兵衛　全六卷
義士（男でござる）元祿俠烈に男の中の男と見られる義士を扱ける浪曲名物の
新派劇部の坂本謹治郎外十五名大車輪
我が節の戰士は武裝せり勝利は常に實力ある者の手に歸す
（料金普通）（每日晝夜二回開館）

京城永樂町一丁目
帝國キネマ鮮滿封切場　中央館
當る十月二十七日より
大阪市立商品館
活劇　武者修業　全二卷

京城本町
電話五七八番
二十八九日臨演
京城劇場
第一喜劇　思ふつぼ
第二新劇　心機一轉
第三社會劇　龍きぬ緣
第四喜劇　かまぼこや
中島協平、小林夫郎、山鶴五郎、上利重、助人吉茂、旭池、幽霊松、お樂、上の府屋、次郎や村靜子、お秀、おつこ、…

龍山
京龍館
當る廿九日より寫眞取換
▲泰西大活劇　破邪　全五卷
▲新派大悲劇　松の操　全四卷
舊劇　松之助　扇太郎　合同劇
武勇傳
源賴光　全七卷

新派劇　血染の法衣　全四卷
運命の波濤　全六卷
壇園右衛門　全八卷

株券紛失公告
右株券盜難ニ罹リ紛失シタルニ付キ大正十年十一月二十七日屆出ニ付自今無効トス
株式會社漢城銀行

職業
月末當選（金美五圓賞與金貸付日給二圓位
有製品買受、特約店大募集
大阪東區高麗橋
豐國總本店

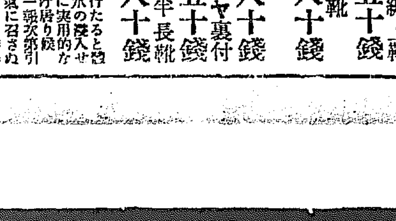
京城本町二丁目（郵便局前）
中村眼鏡店
電話 二一七番　振替京城三四六番

專賣特許　サイト紙
洗濯の出來る障子紙
總督府御用
京城本町三丁目
一手發賣元　國枝商會
電話 二三六六

李王職御用
鐵道病院御用
模範　全乳
東亞牧場
京城太平通　（電話五一番）

家建進新　迎歡的熱白
價格低廉外觀壯美!!
▲耐水耐寒耐久耐火!!
セメント瓦
鐵筋入張瓦
特許セメント瓦
製造株式會社
京城明治町一丁目
長電話九三七番

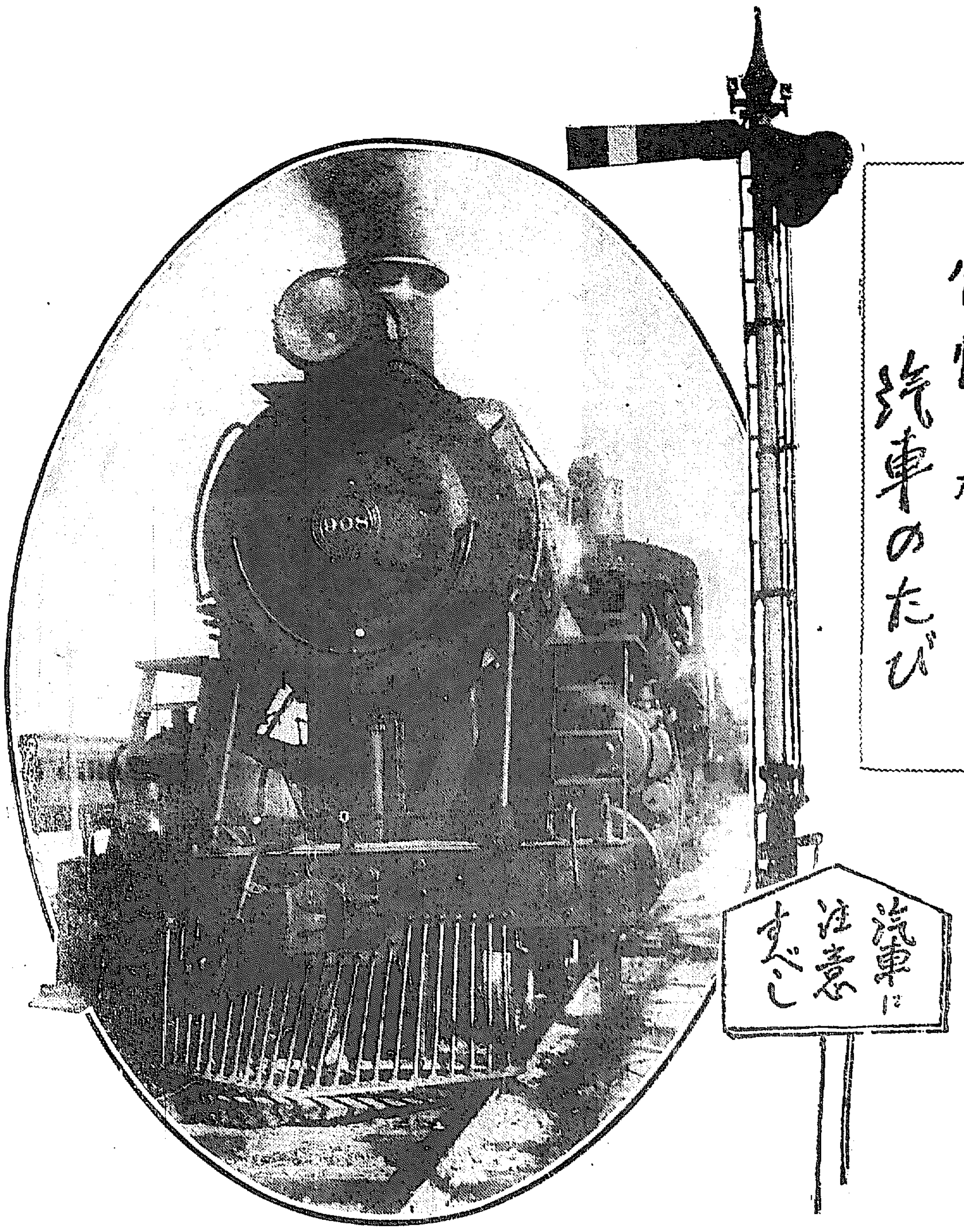
旅行家ノ必需品
トランク・カバン
品質價格獨步
製造元　京城本町二
向井カバン店
電話二四八四



三倉特製ゴム底靴と總ゴム靴
ゴム底ボックス短靴　金三圓七十錢
ゴム底ボックス編上靴　金四圓八十錢
ゴム底ボックス　金五圓八十錢
ゴム底ボックス變形　金四圓八十錢
ゴム底ボックス　金五圓八十錢
ゴム底ボックス深ゴム靴　金六圓三十錢
ゴム底黑ズック編上靴　金一圓五十錢
總ゴム紐付短靴　金一圓八十錢
總ゴム深變形　金一圓八十錢
ゴム長靴ラシヤ裏付　金七圓五十錢
黑軍用皮ゴム底半長靴　金四圓八十錢
今や本品の履價は共殷新流行たると堅牢優美は勿論步きよきと水の浸入せざる事耐久力は皮底以上に實用的なるが故草越せると貴論を受け居り候御註文は足袋文數和類御一報次第引替小包にて御送附可致候送に召され際は返金交換自由に可致候間是非御用命希上候
東京市本郷春木町
三倉商會
振替口座東京二〇五三九番電話小石川四五二九番

汽車足袋

旅は汽車
足袋は汽車
愉快な旅は
汽車のたび



汽車足袋の五大特色

○履き心地良き事寢臺車の如し
○品質の良き事一等車の如し
○價格の安き事三等車の如し
○賣行の早き事急行車の如し
○人氣の集る事停車場の如し

發賣元
東京
小杉合名會社

京城總代理店
玉植商店京城支店